

FolderView

Ver. 1.0.0

取扱説明書



FolderView/フォルダビュー



目次

第1章 概要	1
1.1 はじめに	1
1.2 取り扱い種別	1
1.3 動作環境	1
1.4 作者について	1
1.5 ソフトの概要	1
1.5.1 フォルダビューの表示	1
1.5.2 フォルダビューの消去	2
1.5.3 フォルダビューの再表示	2
1.5.4 フォルダビューの自動設定	4
1.5.5 フォルダビューの手動設定	5
1.6 用語の定義	5
1.6.1 フォルダ	6
1.6.2 フォルダグループ	6
1.6.3 フォルダビュー	7
第2章 インストールとアンインストール	8
2.1 ダウンロードファイル	8
2.2 インストール方法	8
2.2.1 パッケージの配置	8
2.2.2 フォルダグループの作成	9
2.2.3 フォルダグループ設定情報の確認	9
2.2.4 フォルダビューの表示確認	11
2.3 起動方法の決定	12
2.3.1 エクスプローラを使用する方法	12
2.3.2 他のソフトウェアを併用する方法	14
2.4 アンインストール方法	15
第3章 フォルダグループの各種操作	16
3.1 開く	16

3.2 閉じる	17
3.3 再表示	19
3.4 自動設定	21
3.4.1 自動設定項目の一覧	21
3.4.2 自動設定の手順	22
3.4.3 エクスプローラから実行する場合	26
3.5 手動設定	28
第4章 フォルダビュー共通の操作	32
4.1 フォルダビューを閉じる	32
4.2 システム設定	33
4.2.1 WAIT_TIME	34
4.2.2 OPEN_SETTING_FILE	36
4.2.3 UPDATE_CONFIRMATION	36
4.2.4 EXCLUDE_EXPLORER	37
4.3 取扱説明書	38
4.4 登録と解除	39
4.4.1 新規フォルダグループの作成	40
4.4.2 フォルダビューへの登録	40
4.4.3 フォルダビューの登録解除	42
第5章 作ってみよう	44
5.1 シナリオをまとめる	44
5.2 フォルダグループを設計する	45
5.3 フォルダグループを作成する	46
5.3.1 フォルダグループの新規作成	46
5.3.2 フォルダグループの自動設定	47
5.3.3 フォルダグループの手動設定	49
5.3.4 フォルダグループの再表示	51
索引	53

第 1 章 概要

1.1 はじめに

このたびは、「FolderView」をダウンロードいただき、誠にありがとうございます。ここでは、本書の効果的な使用方法について述べたいと思います。

まず初めに、「1.5 ソフトの概要」を読んで機能概要をご理解いただいた後、「2.2 インストール方法」に従って本ソフトウェアのインストールを行ってください。その後「第 5 章 作ってみよう」をご一読の上実践していただければ、一通りの流れを理解することができます。その他の章・節は、必要に応じてご参照ください。

1.2 取り扱い種別

本ソフトウェアはフリーソフトです。試用制限等はありませんので自由にご使用ください。

1.3 動作環境

本ソフトウェアは、Windows 11 で動作します。

Windows 10 以前のバージョンは環境がないため動作検証していません。

1.4 作者について

本ソフトウェアの作者：ぶらぼた GO

作者への連絡先：go@bura-pota.com

使用した感想などいただけると嬉しいです。フリーソフトですのでクレームには対応しかねますが、不具合がありましたら可能な範囲で対応を検討させていただきます。

1.5 ソフトの概要

まずは本ソフトウェア FolderView（フォルダビュー）を用いて、何ができるのかについて説明します。

1.5.1 フォルダビューの表示

事前に記録した設定情報に基づき、ワンクリックで複数のフォルダをエクスプローラで画面に表示することができます。各エクスプローラに対して、フォルダパス、表示位置、表示サイズ、表示方法（ビューモード）、各種ウィンドウペインの表示 ON/OFF 等を設定することができます。

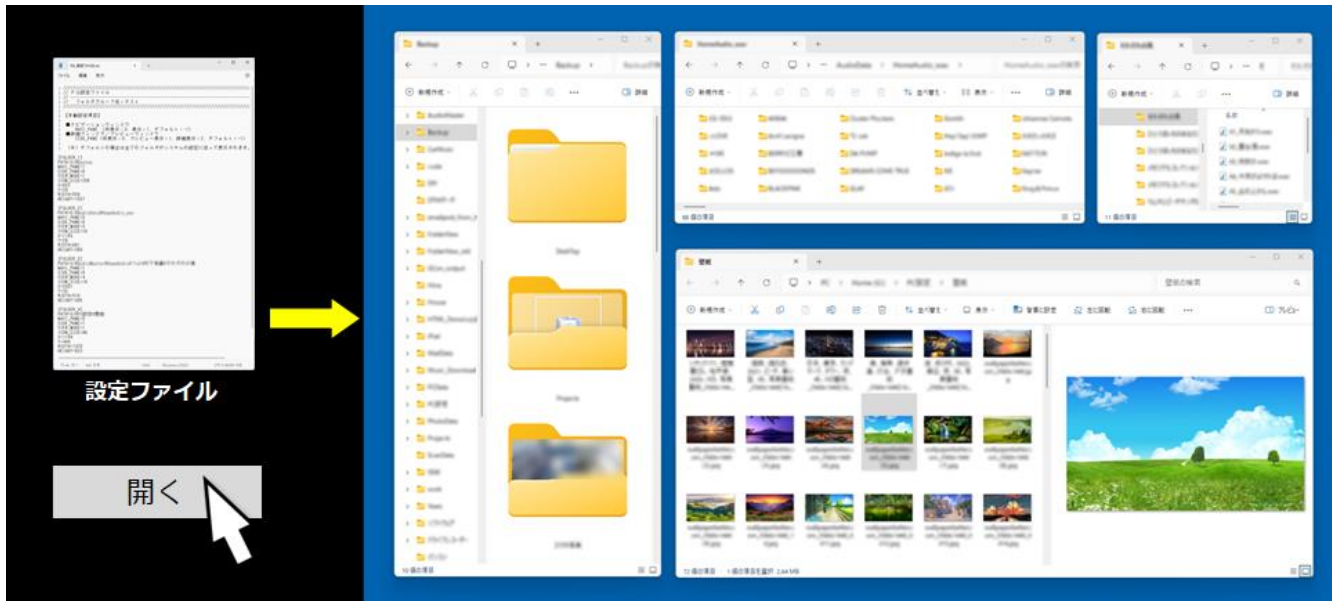


図 1-1 フォルダビューの表示

1.5.2 フォルダビューの消去

画面上に表示されているフォルダビューをワンクリックで瞬時に消去することができます。



図 1-2 フォルダビューの消去

1.5.3 フォルダビューの再表示

フォルダビューを表示した後に手動で別のエクスプローラやアプリケーションを起動すると、フォルダビューが背面に埋もれてしまうことがあります。その場合、再表示を行うことでフォルダビューを最前面に表示することができます。この動作では、見えない位置にあるフォルダグループを、内部的には 1.5.2（フォルダビューの消去）→1.5.1（フォルダビューの表示）の順で処理を行います。

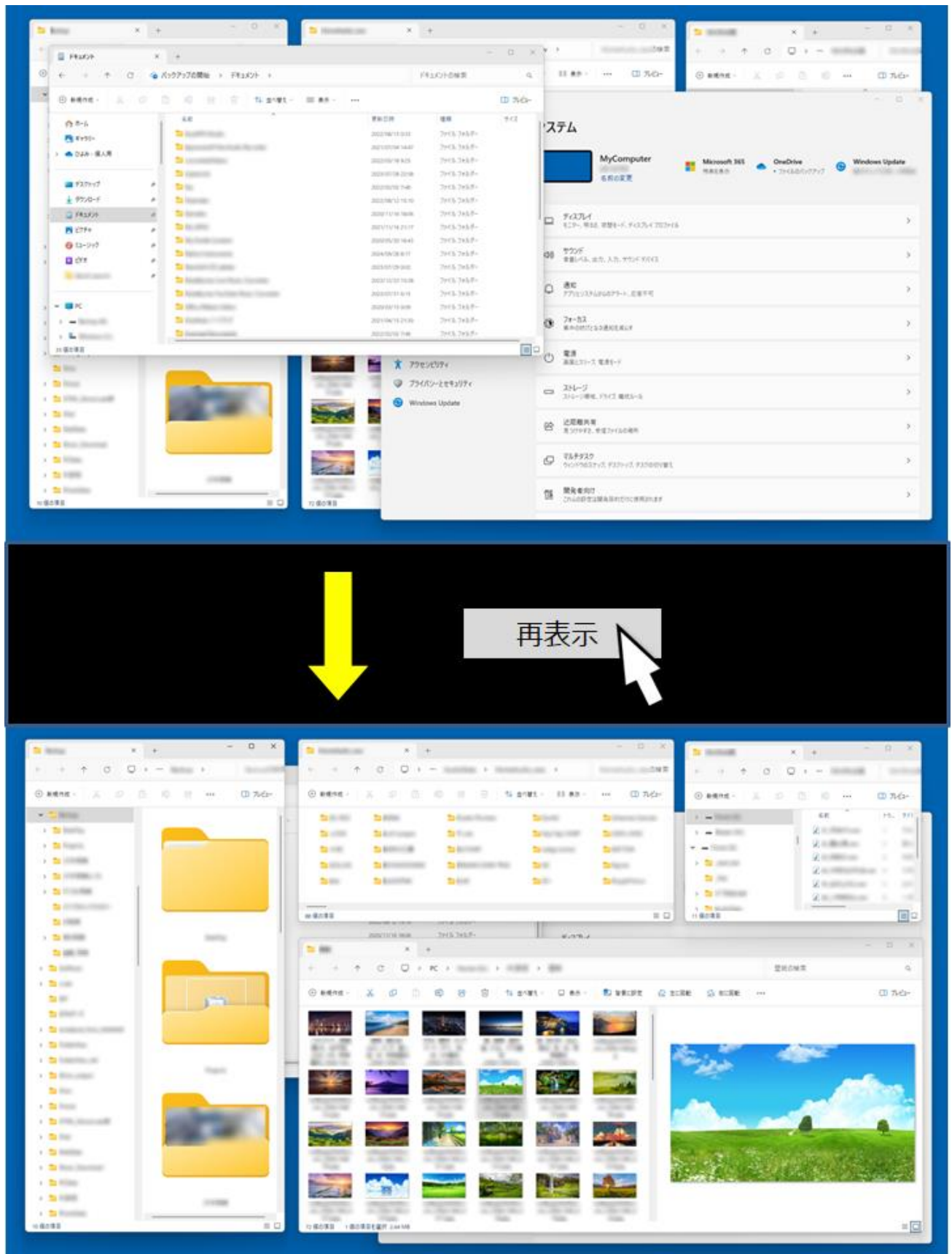


図 1-3 フォルダビューの再表示

フォルダビューの設定を自動または手動で変更した後、再表示を確認したいときにもこの機能は有効です。

1.5.4 フォルダビューの自動設定

画面上にエクスプローラを自由に配置し、その位置やサイズを見たままの状態 で FG 設定ファイルに記録することができます。例えば、ダウンロードした画像ファイルをピクチャーフォルダへコピーする作業を考えた場合、左側にダウンロードフォルダを配置し、右側にピクチャーフォルダを配置すると便利です。その状態で [自動設定] ボタンをクリックすると、その2つのフォルダの表示状態が FG 設定ファイルに記録され、以降はその FG 設定ファイルに基づき、フォルダビューをいつでも表示させることができます。

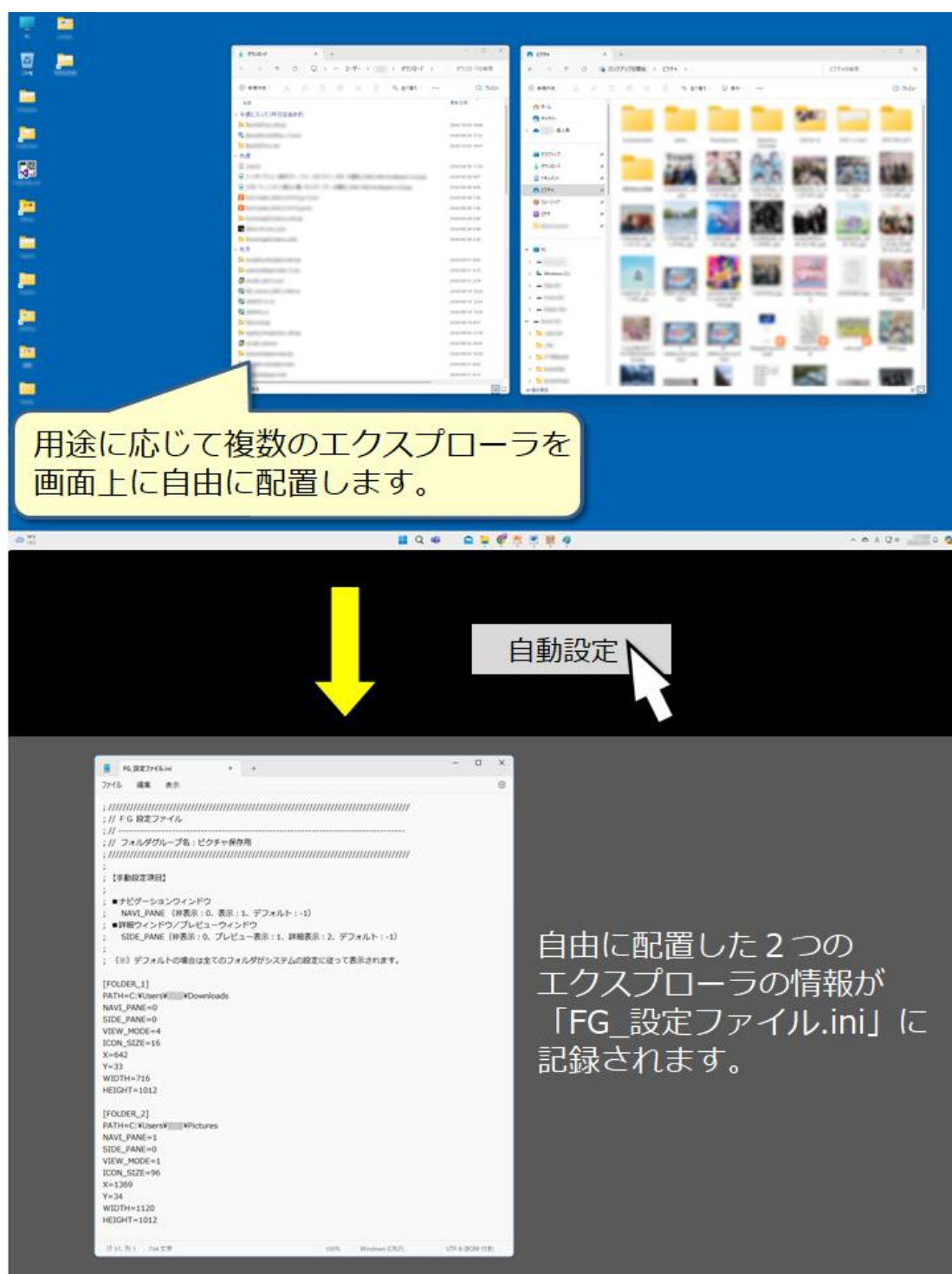


図 1-4 フォルダビューの自動設定

1.5.5 フォルダビューの手動設定

1.5.4で作成したフォルダビューの設定情報は、手動で修正することもできます。各エクスプローラの位置・サイズの微調整、対象フォルダパスの変更、各種ウィンドウペインの表示 ON/OFF、エクスプローラの表示方法（ビューモード）等の変更を行うことができます。

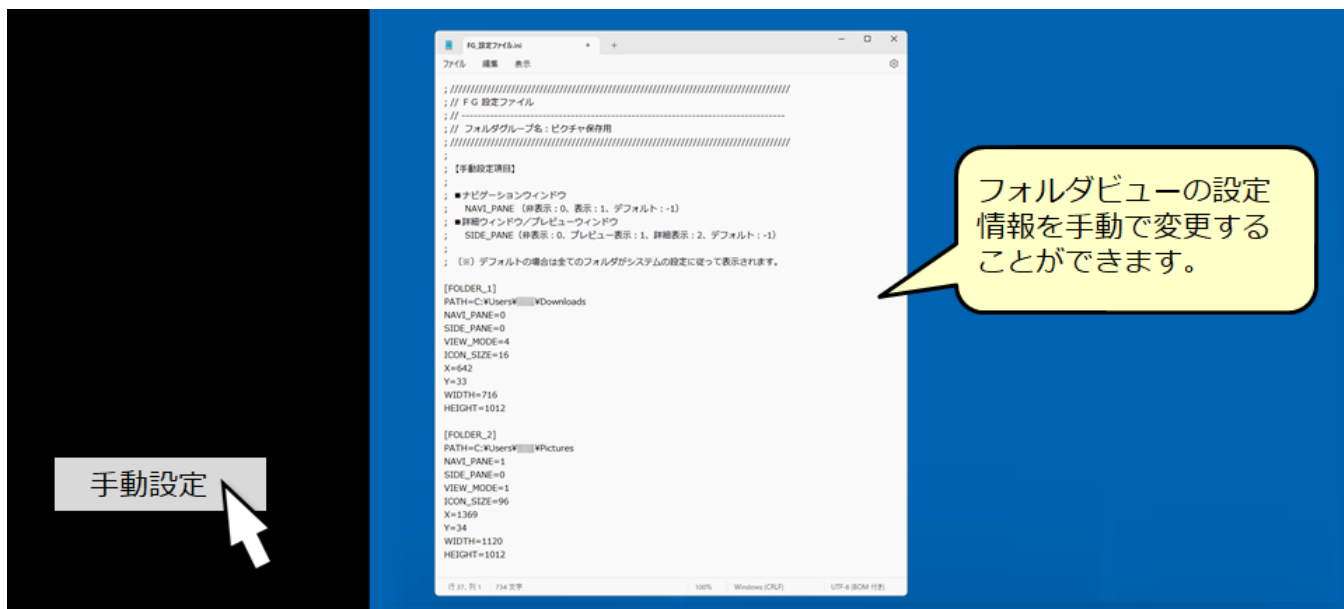


図 1-5 FG 設定ファイルの手動編集

1.6 用語の定義

以下に本書で用いる基本的な用語の定義を示します。

表 1-1 基本的な用語の定義

用語	略称	意味
エクスプローラ	—	本書では、ファイルエクスプローラを意味します。
フォルダ	—	一つのエクスプローラ。任意のパスのフォルダを表示したもの。表示位置とサイズ、表示方法、表示ペイン等を情報として持ちます。
フォルダグループ	FG	一度に表示される一つまたは複数のフォルダ。 作業シナリオに基づき、表示するフォルダの数や配置を決定します。
フォルダビュー (FolderView)	FV	一つまたは複数のフォルダグループを画面に表示したもの。
FG 設定ファイル	—	フォルダグループの情報を記録したファイル。 ファイル名は「FG_設定ファイル.ini」。
システム設定ファイル	—	システム（アプリケーション）共通の設定を記録したファイル。 ファイル名は「system.ini」。

1.6.1 フォルダ

以下の図は、G:\¥Backup というフォルダパスをエクスプローラで表示したものです。

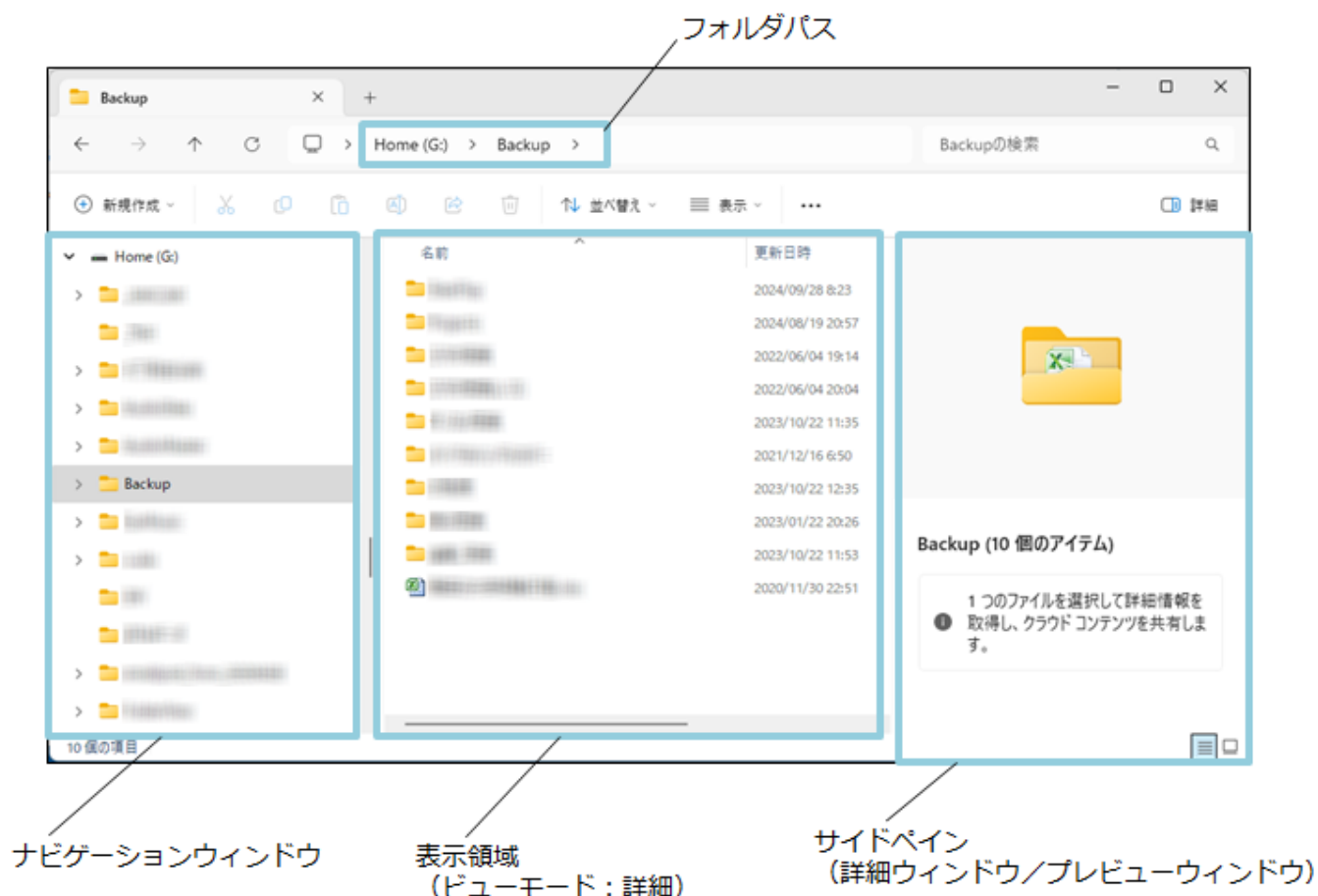


図 1-6 フォルダの構成

本ソフトウェアでは、ビューモード（詳細/一覧/小アイコン等）に加えて、ナビゲーションウィンドウやサイドペイン（詳細ウィンドウ/プレビューウィンドウ）の表示 ON/OFF 等も設定できます。

1.6.2 フォルダグループ

ワンクリックで一度に表示するフォルダの集合を「フォルダグループ」と定義します。

例として「ダウンロードした壁紙ファイルを、壁紙保管用フォルダへコピーする」というシナリオを考えた場合、作成するフォルダグループは、例えば以下のようにします。

- ① フォルダグループは2つのフォルダを含むものとする。
- ② 左側にダウンロードフォルダを配置する。ナビゲーションウィンドウは不要。
- ③ 右側に壁紙ファイル保管用フォルダを配置する。プレビューウィンドウを置いてみる。
- ④ フォルダグループ名を「壁紙登録用」とする。

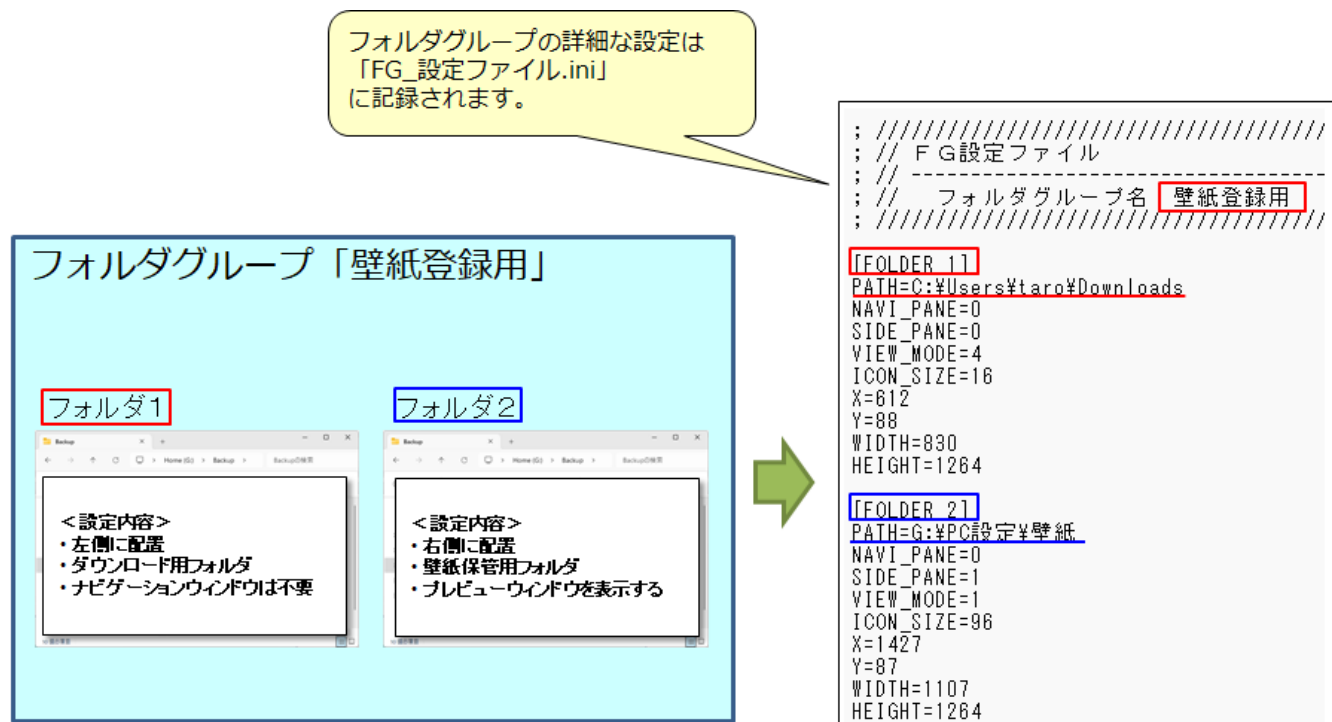


図 1-7 フォルダグループの概要

1.6.3 フォルダビュー

フォルダグループを画面に表示したものをフォルダビューと定義します。フォルダビューは一つまたは複数のフォルダグループを表示した状態です。以下に1つのフォルダグループ（2つのフォルダを含む）を表示したフォルダビューの例を示します。

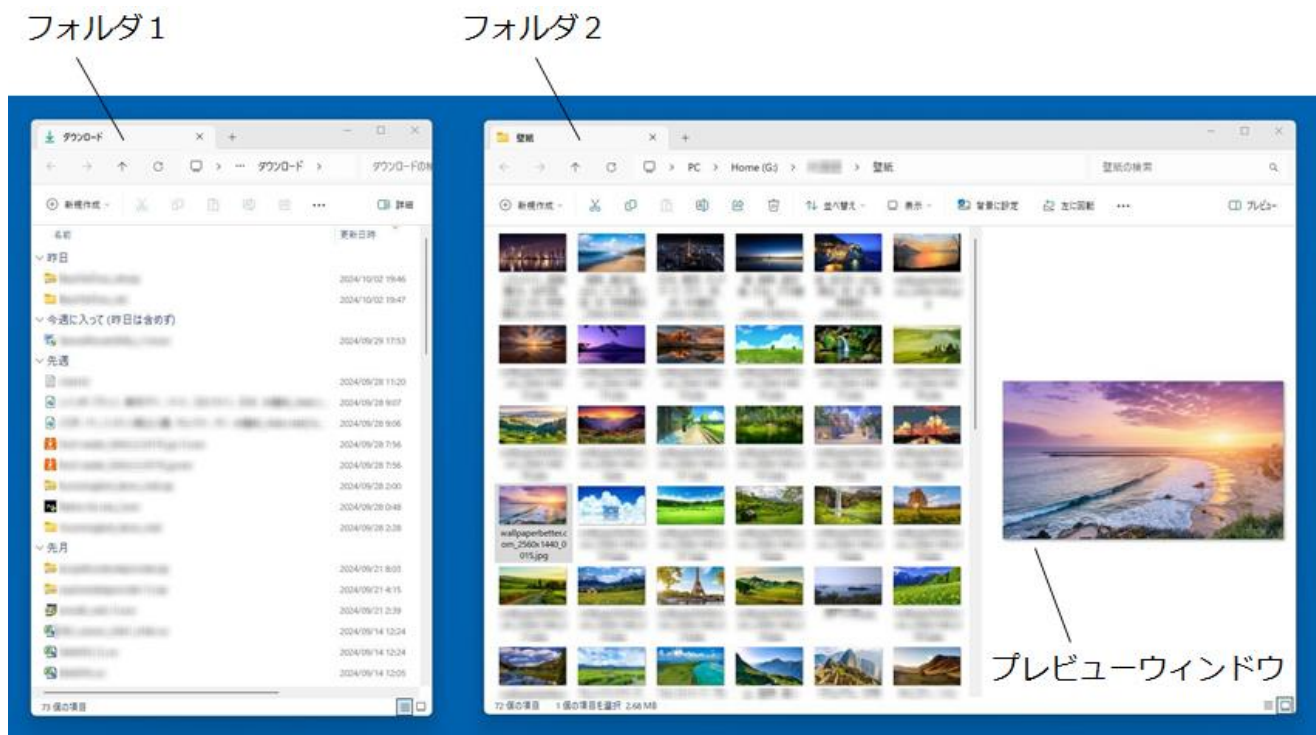


図 1-8 フォルダビューの表示例

第2章 インストールとアンインストール

2.1 ダウンロードファイル

本ソフトウェアパッケージをダウンロードして解凍すると、以下のような構成になっています。



図 2-1 パッケージの内訳

2.2 インストール方法

本ソフトウェアには専用のインストーラはありませんが、いくつか手動によるセットアップが必要です。以下にセットアップの手順を示します。

2.2.1 パッケージの配置

図 2-1 に示す「FolderView」フォルダを、その構成のまま PC のどこかにコピーしてください。普段データファイルを置く場所がよいです。C:\¥Program Files のような場所に置くと、アクセス制限等により正しく動作しないことがありますので、本パッケージ全体をデータファイルとみなして、データファイルを保管する場所にコピーしてください。(例：C:\¥FolderView、C:\¥Data¥FolderView、D:\¥FolderView 等)

2.2.2 フォルダグループの作成

パッケージを配置したら、とりあえず一つのフォルダグループを作成/登録してみましょう。

- ① パッケージを保管した場所にある ¥FolderView¥FV_登録編集フォルダを開きます。
- ② フォルダ内にある「_テンプレート」フォルダを同じ場所にコピーします。
- ③ コピーしたフォルダの名称を「テスト」に変更します。
- ④ 名前を修正した「テスト」フォルダを開き、その中にある「FV_登録.vbs」ファイルをダブルクリックします。

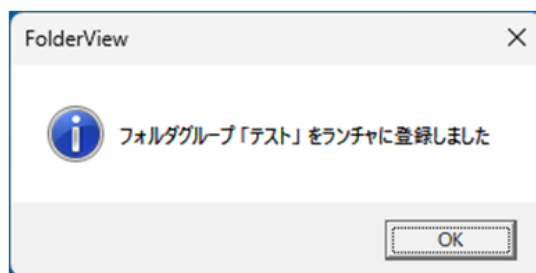
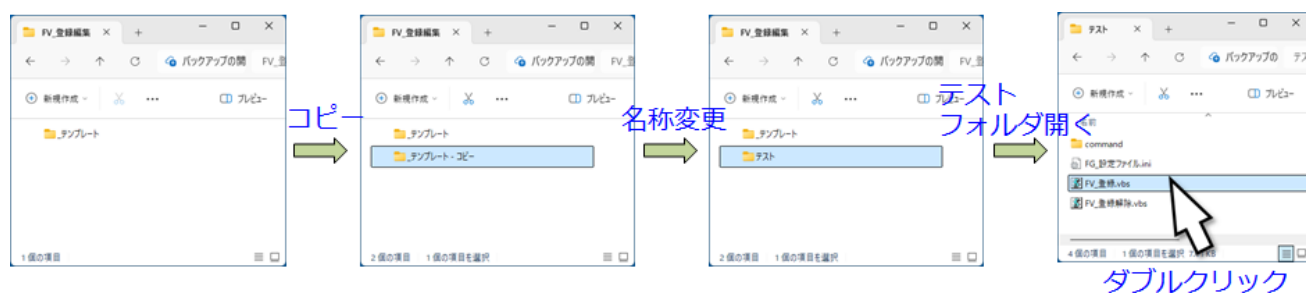


図 2-2 フォルダグループの登録

以上で、「_テンプレート」をコピーして作成したフォルダグループ「テスト」のフォルダビューへの登録を完了しました。登録することでそのフォルダグループがランチャのメニューに表示されます。

2.2.3 フォルダグループ設定情報の確認

2.2.2で作成・登録したフォルダグループ「テスト」の設定情報を確認します。図 2-1 に示すフォルダ構成の中の「FV_ランチャ」をエクスプローラで開きます。その中にある「5_手動設定」というショートカットファイルをダブルクリックしてください。

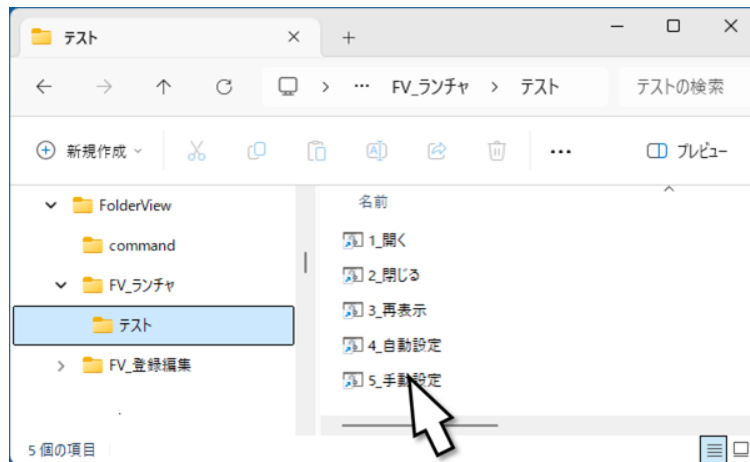


図 2-3 FG 設定情報の確認操作

以下のような FG 設定ファイルが表示されることを確認してください。

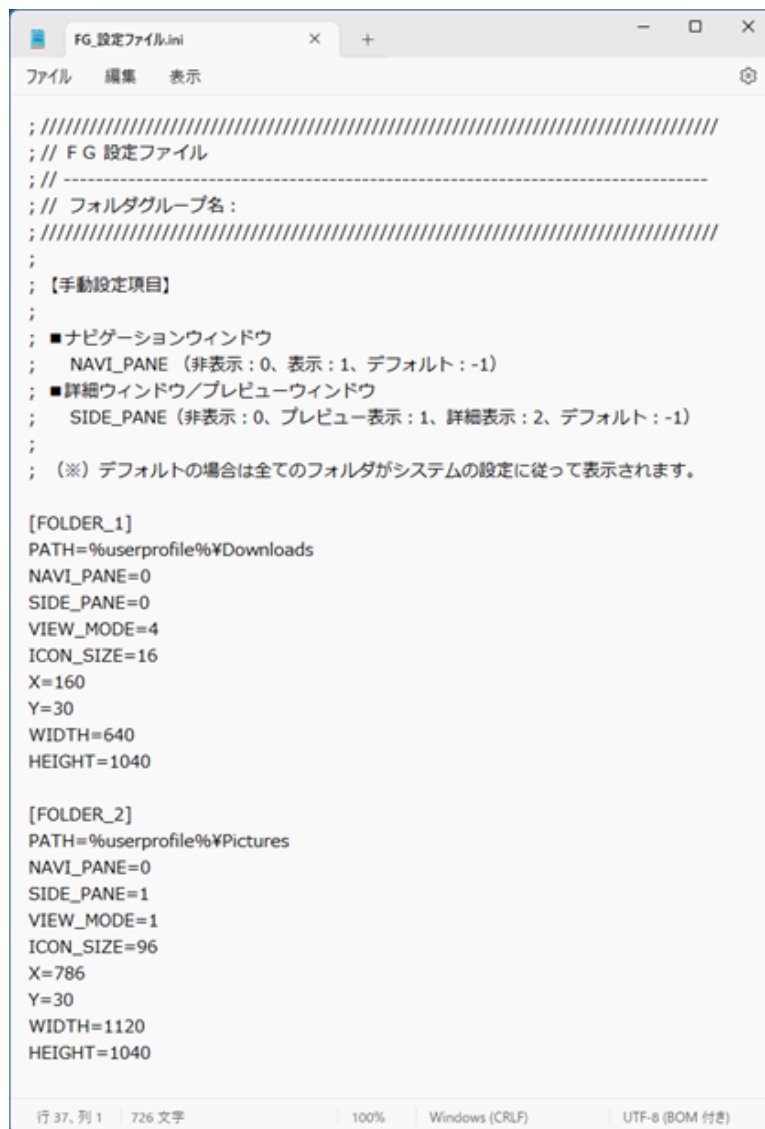


図 2-4 FG 設定ファイルの確認

このフォルダグループはデフォルトの設定ですので、4行目の「フォルダグループ名」は何も記載されていません。確認後はテキストエディタ（メモ帳）を閉じてください。

2.2.4 フォルダビューの表示確認

次にフォルダビューが表示できることを確認します。図 2-1 に示すフォルダ構成の中の「FV_ランチャ」をエクスプローラで開き、フォルダグループ「テスト」を選択し、その中にある「1_開く」というショートカットファイルをダブルクリックしてください。

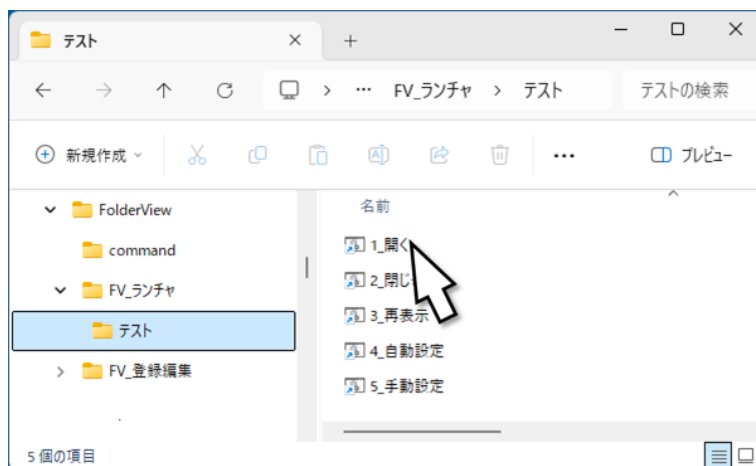


図 2-5 フォルダビューの表示操作

上記の操作で、フォルダビューが画面に表示されます。2.2.2 で作成したフォルダグループ「テスト」は、「_テンプレート」フォルダをコピーしたものですので、その中に入っているデフォルトの FG 設定ファイルの内容に基づきフォルダビューが表示されます。そのため、左側にはダウンロードフォルダ、右側にはピクチャフォルダが以下のように表示されることを確認してください。

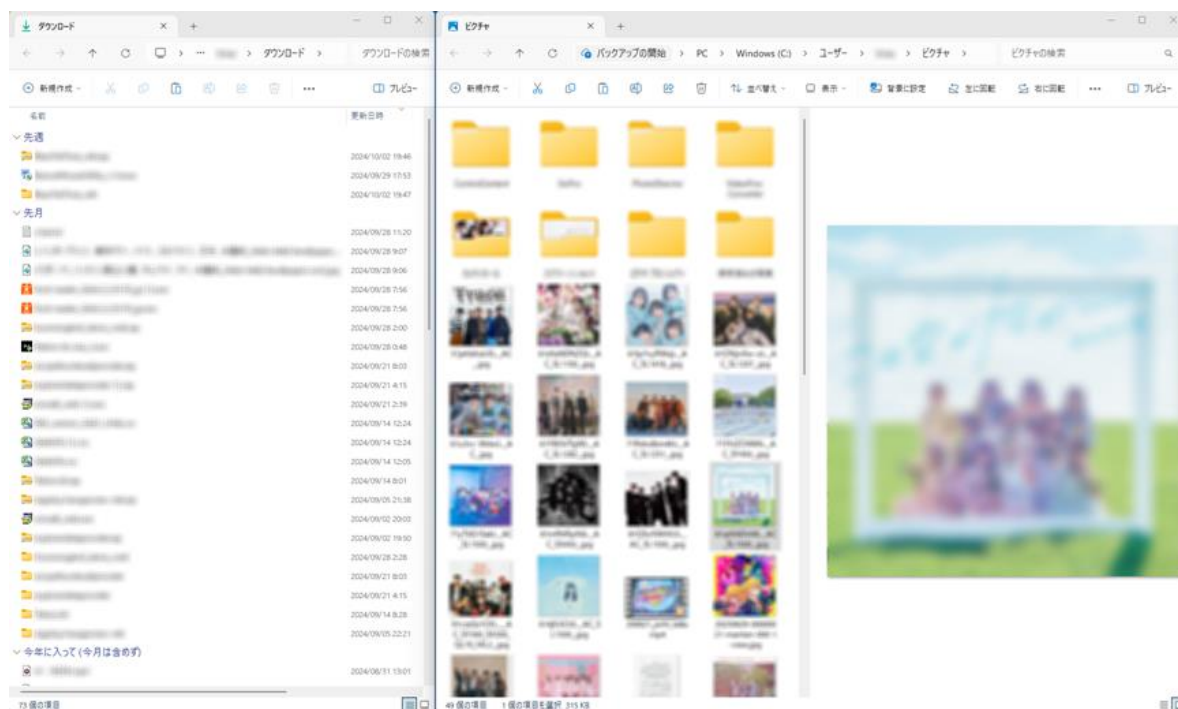


図 2-6 フォルダビューの表示確認

以上でセットアップの確認は完了です。

図 2-6 でフォルダビューの位置やサイズが正しく表示されない場合、4.2.1 に従ってフォルダビュー表示処理の待ち時間 (WAIT_TIME) の調整を行ってください。

2.3 起動方法の決定

本ソフトウェアは、図 2-1 に示すフォルダ構成の中の「FV_ランチャ」を起点として全ての実行操作を行います。起動方法について、Windows 標準のエクスプローラを用いる方法と、フリーのソフトウェアを用いる方法について以下に示しますが、使いやすさという意味では、フリーのソフトウェアのご使用をおすすめします。

2.3.1 エクスプローラを使用する方法

エクスプローラを用いて「FV_ランチャ」フォルダを表示すればよいのですが、少しでも効率的に行うために、以下の手順を記しておきます。

(1) スタートにピン留めする

FV_ランチャフォルダを速やかに表示できるようにするために、スタートにピン留めします。

図 2-1 に示すセットアップした FolderView フォルダ内の「FV_ランチャ」フォルダを右クリックして現れるメニューから、「スタートにピン留めする」を選択します。

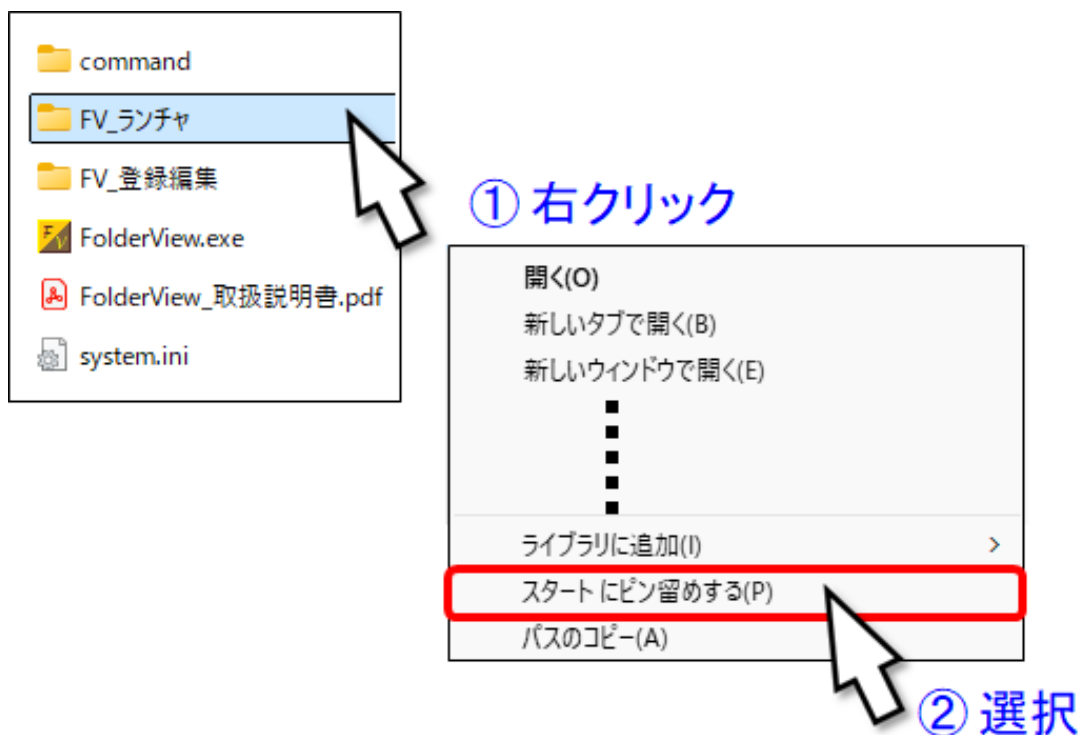


図 2-7 スタートにピン留め

上記の操作で、「FV_ランチャ」フォルダをスタートにピン留めすることができます。

「スタートにピン留め」以外にも、「クイックアクセスにピン留めする」という方法もあります。使いやすい方法をご利用ください。

(2) スタートから FV_ランチャを起動する

ピン留め後スタートボタンをクリックすると、ピン留め済みアプリを表示するメニューに「FV_ランチャ」が表示されますので、それをクリックすることで速やかに FV_ランチャをエクスプローラで表示することができます。



図 2-8 スタートから FV_ランチャの起動

上記手順で「FV_ランチャ」の図 2-9 のエクスプローラが表示されますので、その中にある任意のフォルダグループを選択して、各種操作を実行することができます。

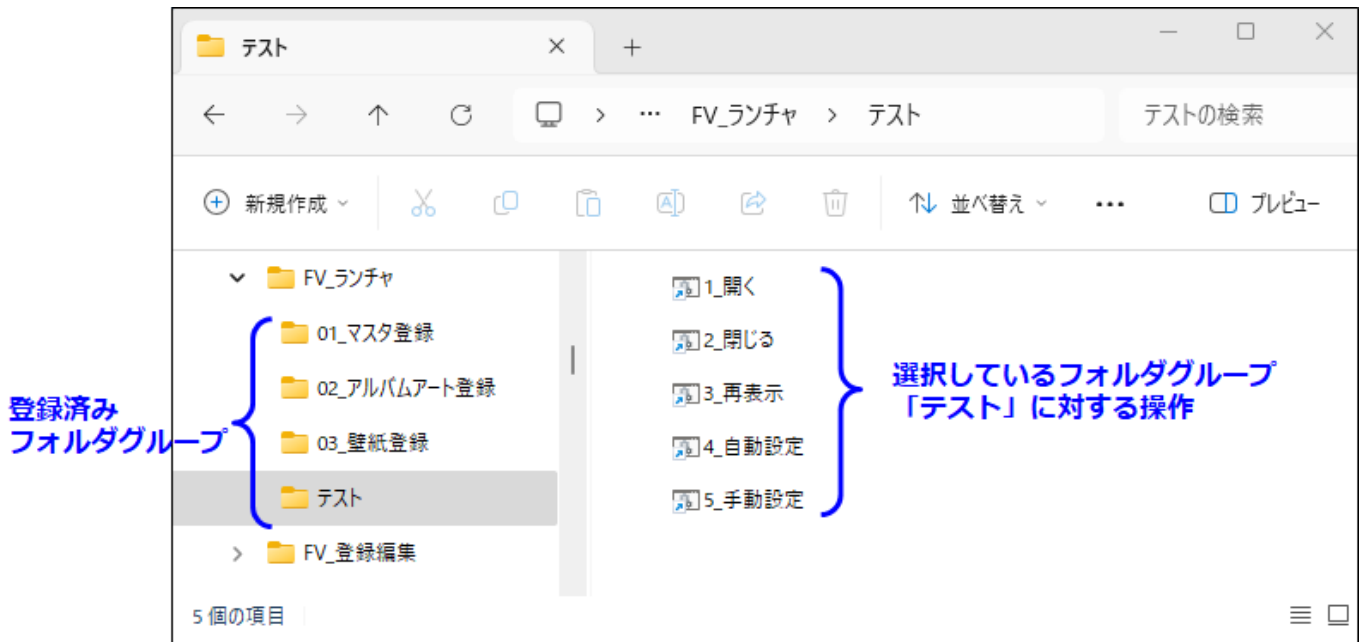


図 2-9 エクスプローラによる FV ランチャの操作

エクスプローラを用いてフォルダビューを操作する場合、いくつかの注意点があります。

- ① フォルダビューを表示すると、FV_ランチャのエクスプローラがその裏に隠れてしまう。
- ② フォルダビューの自動設定（3.4 参照）を行う際、FV_ランチャのエクスプローラ自体もフォルダグループに含まれてしまう。これについては回避策を準備しましたので 3.4.3 をご参照ください。

2.3.2 他のソフトウェアを併用する方法

フリーのソフトウェア等には、「メニュー展開型」に対応するランチャというものがあります。そのようなソフトウェアを併用することで、本ソフトウェアはさらに使いやすくなります。その中でも「CLaunch」(*)は秀逸で、まさに神ソフトです。そのフリーソフトに「FV_ランチャ」を登録して、メニュー展開の設定で使用すると、以下のような感じで本ソフトウェアを使用することができます。

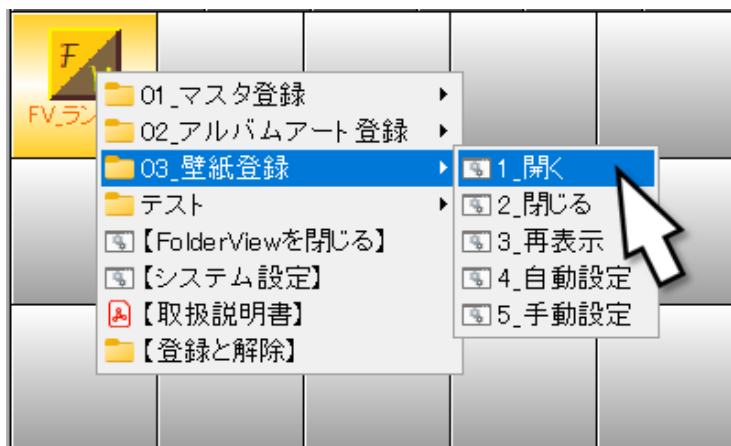


図 2-10 メニュー展開型ランチャの活用（その1）

(※) 著作権者：ぴよんきち氏 <https://ss1.xrea.com/pyonkichi.g1.xrea.com/>

さらに、「FV_ランチャ」フォルダの内部にある各フォルダグループを登録すると、ダイレクトにフォルダグループを選択しやすくなります。

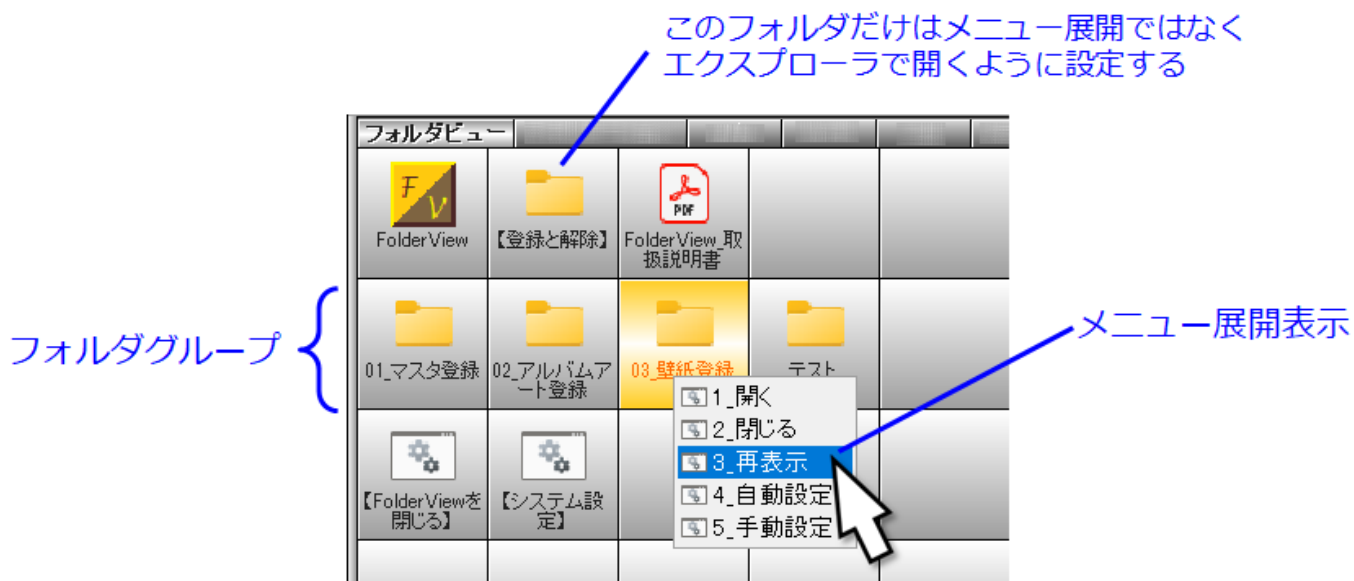


図 2-11 メニュー展開型ランチャの活用（その2）

「FV_ランチャ」フォルダのアイコンを図 2-11 のように FolderView のアイコンにするためには、アイコンのパス指定に、本ソフトウェア（FolderView.exe）のパスを指定すれば OK です。

2.4 アンインストール方法

アンインストールを行う場合は、図 2-1 に示す「FolderView」フォルダごと削除してください。その他、2.3.1 に示す「スタートにピン留めする」をご自身で設定されていた場合は、解除してください。以上でアンインストールは完了です。

第3章 フォルダグループの各種操作

本章では、フォルダグループに対して行うことのできる各種操作について説明します。

3.1 開く

フォルダグループを FG 設定ファイルに従ってフォルダビューに表示します。フォルダグループを選択した後、「1_開く」をクリックします。例として、ドキュメント、ピクチャ、ダウンロード、デスクトップの4つのフォルダで構成される「ユーザーフォルダ」という名前のフォルダグループをフォルダビューに表示する手順を示します。

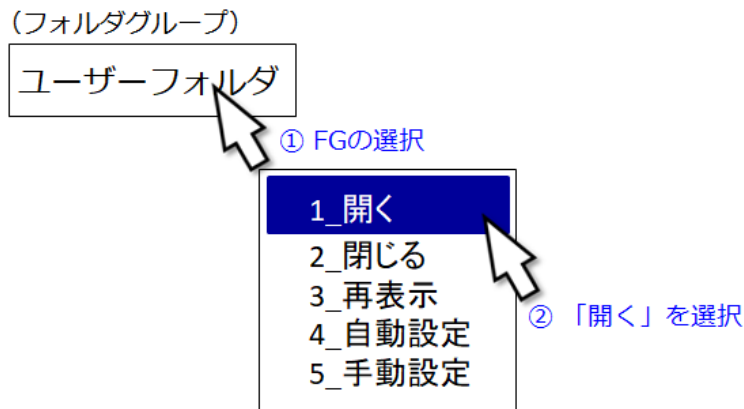


図 3-1 フォルダグループを「開く」操作

上記手順により、フォルダグループ「ユーザーフォルダ」用に設定済みの FG 設定ファイルの情報に従って、画面上の指定された位置に指定されたサイズでフォルダグループ「ユーザーフォルダ」が表示されます。

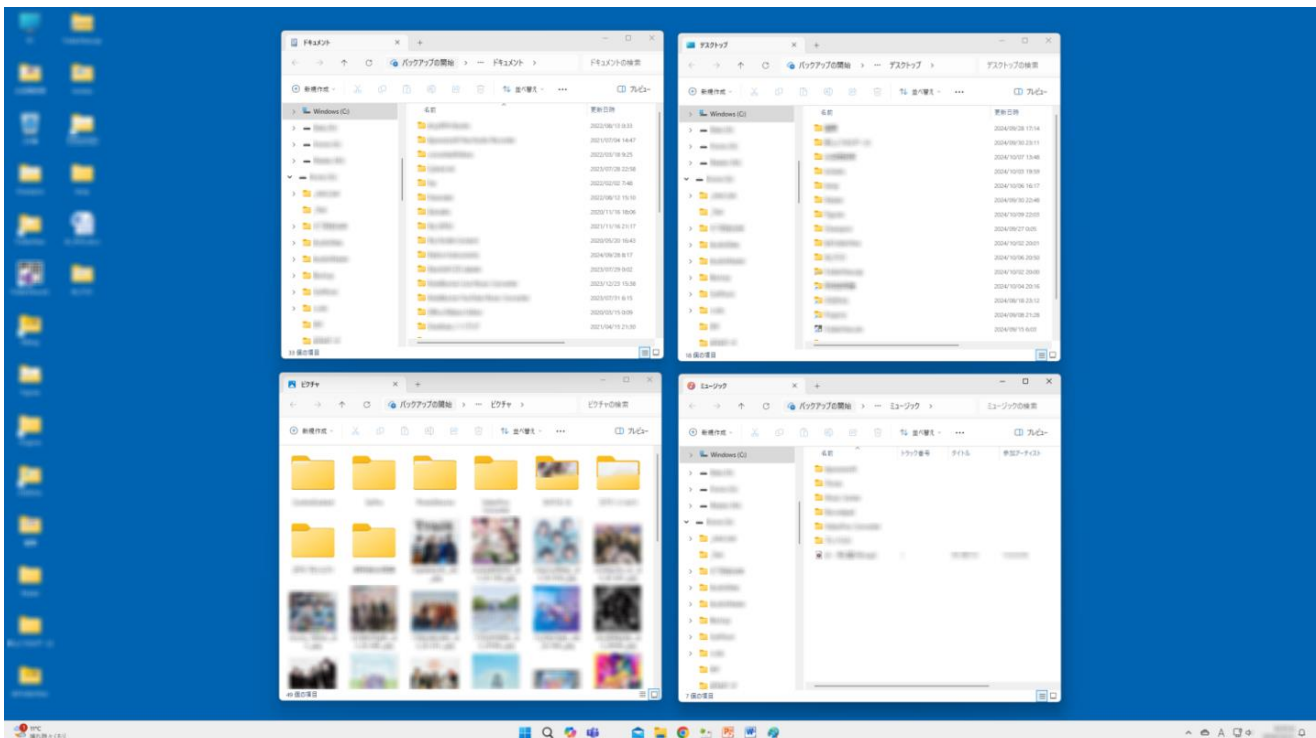


図 3-2 フォルダビューの表示

3.2 閉じる

フォルダビューから、任意のフォルダグループを消去することができます。

フォルダビューに以下の図に示すようにフォルダグループ「FG1」と「FG2」が表示されているとします。



図 3-3 2つのフォルダグループが表示された状態

この状態で、フォルダグループ「FG2」を閉じる（フォルダビューから消去する）手順を以下に示します。

（フォルダグループ）

FG 1

FG 2

① 「FG2」を選択

1_開く

2_閉じる

3_再表示

4_自動設定

5_手動設定

② 「閉じる」を選択

図 3-4 フォルダグループを「閉じる」操作

フォルダビュー上のフォルダグループ「FG2」が消去されました。



図 3-5 フォルダグループ「FG2」の消去

複数のフォルダグループがどのように重なり合っている場合でも、選択したフォルダグループのみが消去されます。

3.3 再表示

フォルダビューに表示されている任意のフォルダグループを、一旦消去してあらためて表示します。この操作を行うことで、他のフォルダグループやアプリケーションに隠れているフォルダグループを、最前面に表示することができます。

フォルダビューにフォルダグループ「FG1」と「FG2」が重なって表示されていて、FG2の一部が隠れている（見えない）状態を想定します。



図 3-6 フォルダビューが重なっている状態

この状態で、フォルダグループ「FG2」を再表示する手順を以下に示します。

(フォルダグループ)

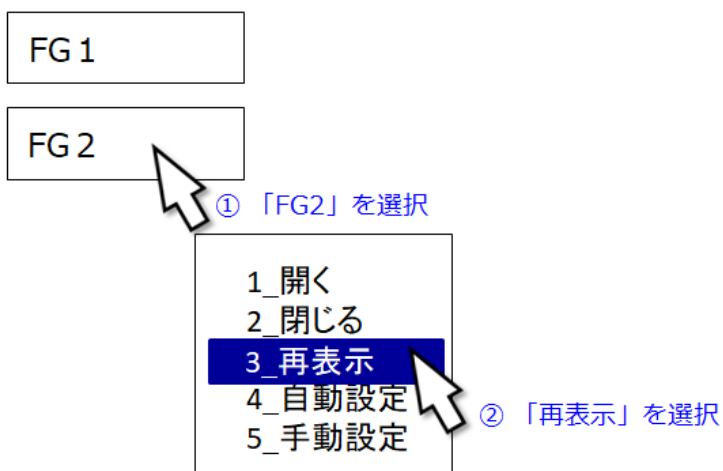


図 3-7 フォルダグループを「再表示」する操作

FG2 を再表示すると以下のように最前面に表示されます。



図 3-8 フォルダグループ「FG2」の再表示

この操作は、例えば3.1の手順に従ってフォルダグループを表示した後、3.4または3.5の手順に従ってフォルダグループの設定を変更した際、変更後の設定でフォルダビューが正しく再表示されることを確認したい場合にも有効です。

3.4 自動設定

画面上の好きな位置に好きなサイズで、一つまたは複数のエクスプローラを配置し、それらを一つのフォルダグループとして自動で設定を保存することができます。

3.4.1 自動設定項目の一覧

一つのフォルダ（エクスプローラ）に対して、以下の情報を設定することができます。

表 3-1 自動設定項目の一覧

項目名	内容	設定値	備考
PATH	フォルダのフルパス	フルパス文字列	手動では %USERPROFILE% 使用可。
NAVI_PANE	ナビゲーションウィンドウ の表示/非表示	0：非表示 1：表示 -1：デフォルト	デフォルトはフォルダグ ループを開く直前のエク スプローラの状態。
SIDE_PANE	詳細ウィンドウまたはプレ ビューウィンドウの表示	0：非表示 1：プレビューウィンドウ を表示する。 2：詳細ウィンドウを表示 する。 -1：デフォルト	デフォルトはフォルダグ ループを開く直前のエク スプローラの状態。
VIEW_MODE	エクスプローラの表示モー ド	1～8	リスト表示、詳細表示等。
ICON_SIZE	アイコンサイズ	アイコンサイズ [pixel]	VIEW_MODE の設定によ っては手動変更が適用で きない場合あり。
X	始点の X 座標	横方向の座標 [pixel]	最大値は PC 環境による。
Y	始点の Y 座標	縦方向の座標 [pixel]	最大値は PC 環境による。
WIDTH	エクスプローラの横幅	横幅 [pixel]	最大値は PC 環境による。
HEIGHT	エクスプローラの縦幅	縦幅 [pixel]	最大値は PC 環境による。

(※) VIEW_MODE と ICON_SIZE の値は、主に画面に表示されている状態を記録するための設定値です。手動でも書き替えられますが、必ずしも書き替えた通りに反映されない場合があります。VIEW_MODE の設定値の意味は、IFolderView2::GetViewModeAndIconSize メンバ関数のアウトプットである「FOLDERVIEWMODE 列挙」の以下説明をご参照ください。

[<リンク先>](#)

自動で設定される各項目の情報を図で示すと、以下のようになります。

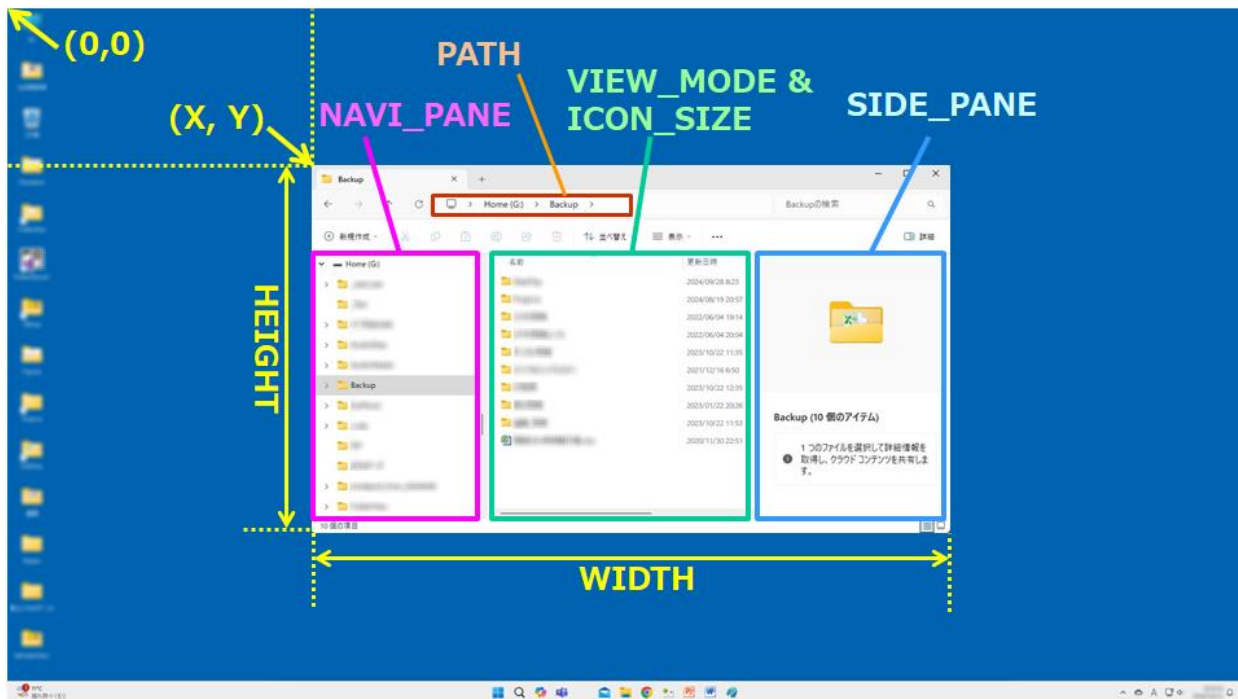


図 3-9 自動設定項目の位置関係

3.4.2 自動設定の手順

フォルダグループの自動設定手順を以下に示します。例として具体的な数値も示します。

(1) フォルダ（エクスプローラ）の配置

フォルダグループとしてまとめたい1つまたは複数のフォルダを、画面上に配置します。

ここでは例として、2つのフォルダで構成されるフォルダグループ「自動設定テスト」を配置します。

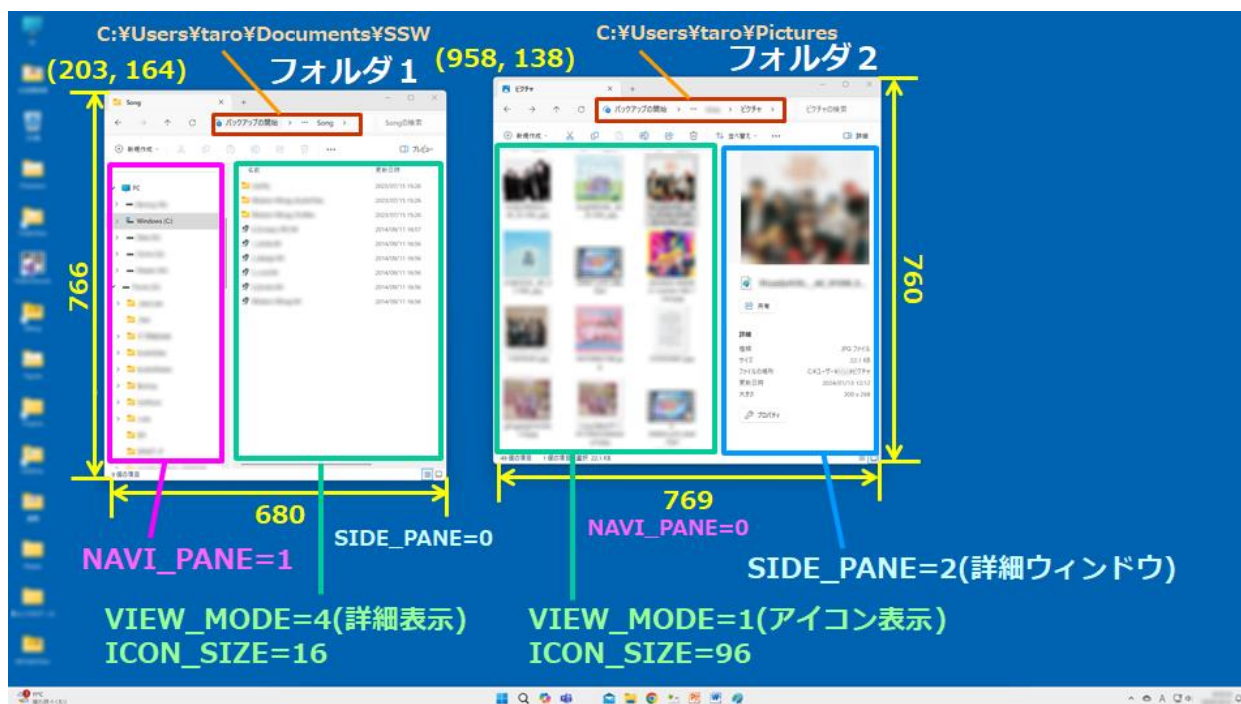


図 3-10 フォルダグループの配置

(2) フォルダ表示順序の設定

フォルダの配置が全て終わったら、フォルダビューに表示する際の表示順序を設定します。

図 3-10 に示すフォルダ 1 とフォルダ 2 を、フォルダ 1 → フォルダ 2 の順序で表示させる場合、以下の手順を行います。(図 3-11) (クリックするだけで結構です)

- ① フォルダ 1 用エクスプローラのタイトルバーの何もないところをクリックする。
- ② フォルダ 2 用エクスプローラのタイトルバーの何もないところをクリックする。



図 3-11 フォルダビュー表示順序の設定

(3) フォルダグループの自動設定

図 3-11 のようにフォルダビューの表示順序を設定したら、以下の手順でフォルダグループの状態を FG 設定ファイルに保存します。

(フォルダグループ)



図 3-12 フォルダグループを自動設定する操作

自動設定したフォルダグループ「自動設定テスト」の情報は、図 3-13 に示す形で FG 設定ファイルに保存されます。このとき、フォルダ 1 とフォルダ 2 が、図 3-11 で設定した順序で記録されます。

自動設定を行う際、タスクバーに最小化されたフォルダ（エクスプローラ）は、記録する対象から除外されます。自動設定の際フォルダグループに含めたくないエクスプローラは、最小化するか終了してください。

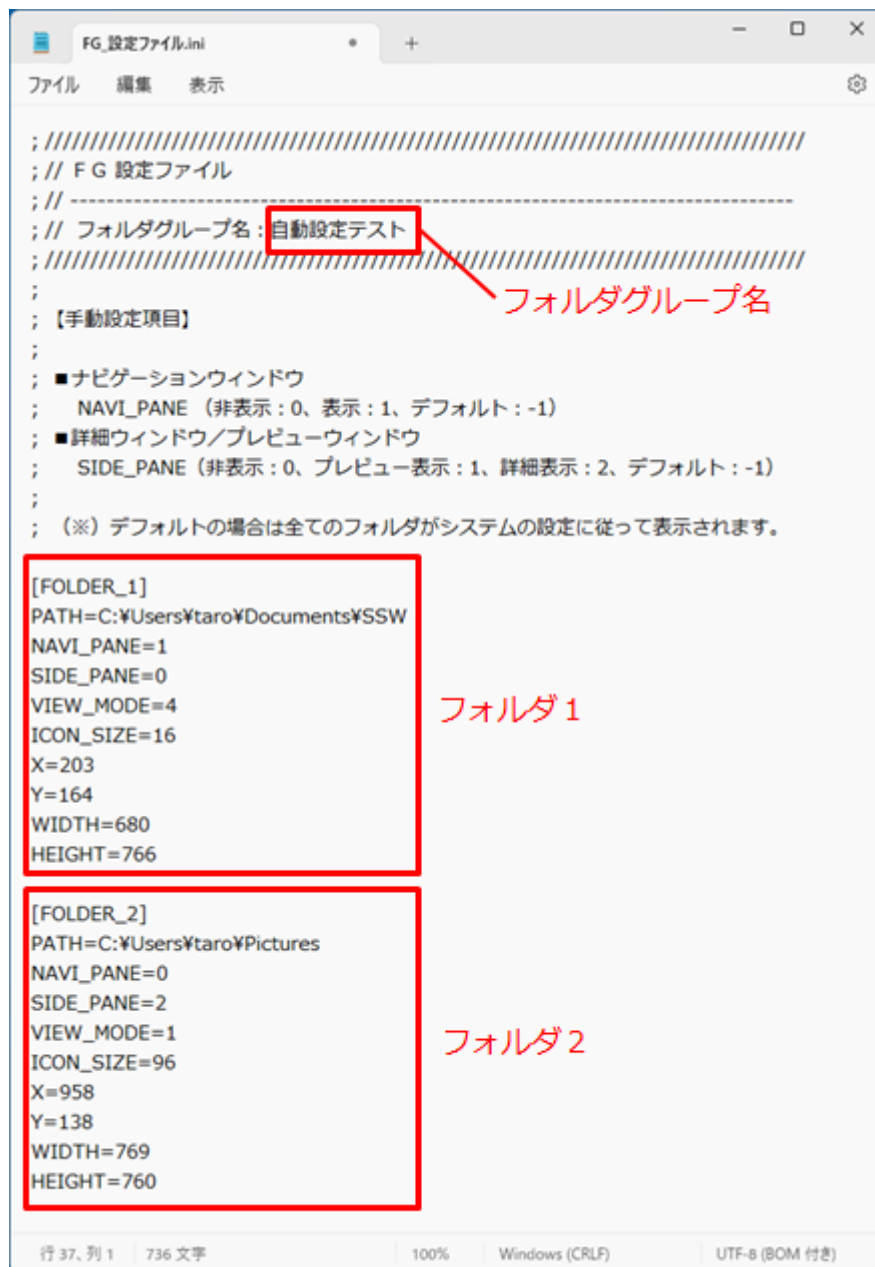


図 3-13 自動設定で保存された FG 設定ファイルの記録内容

システム設定ファイルで「OPEN_SETTING_FILE」を 1 に設定すると、自動設定を行うと同時に、上図に示す FG 設定ファイルを自動で開くことができます。

詳しくは4.2.2をご参照ください。

3.4.3 エクスプローラから実行する場合

本ソフトウェアを2.3.1に示すエクスプローラで使用する場合、自動設定を行うとFV_ランチャを表示しているエクスプローラ自体もフォルダグループに含まれてしまいます。

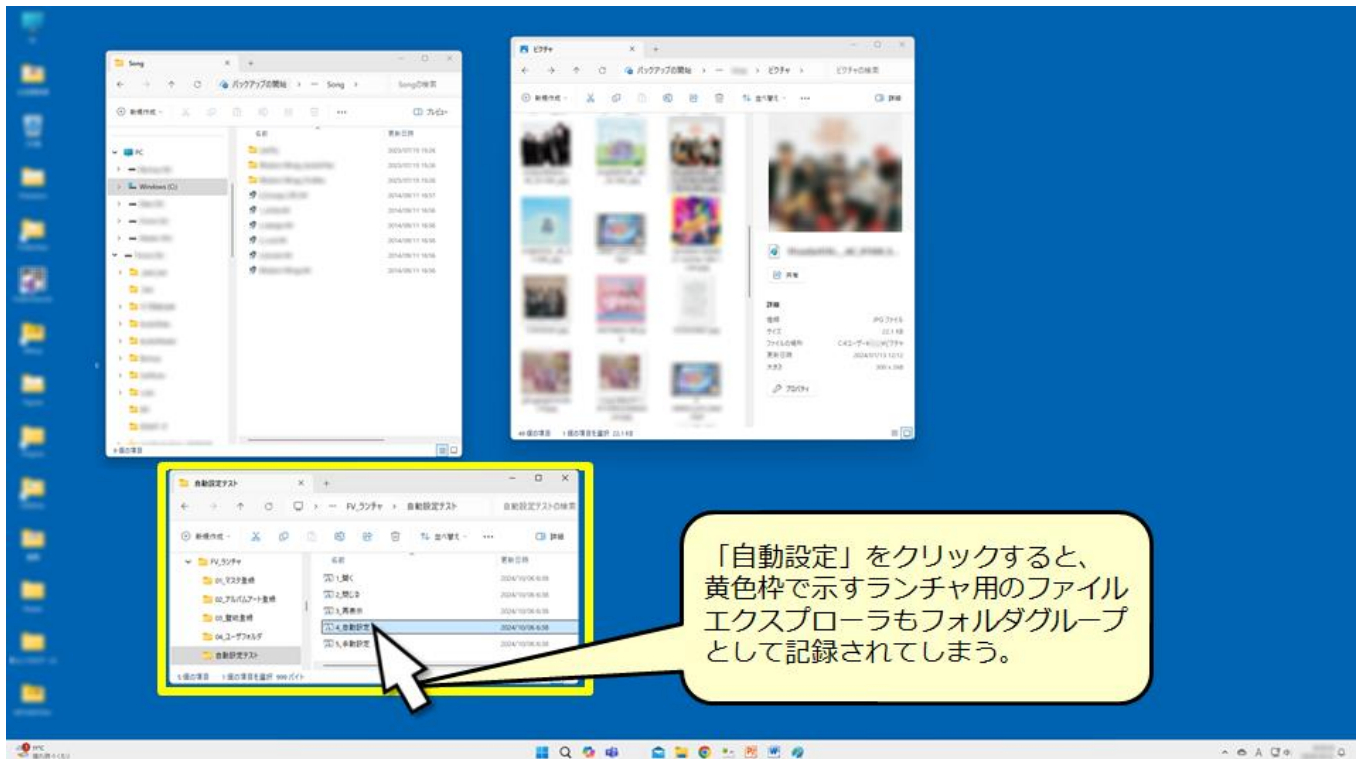


図 3-14 ランチャがフォルダグループに含まれる問題

ここでは、図 3-14 に示す問題の解決方法を示します。

まず 4.2 に従ってシステム設定ファイルを開き、「EXCLUDE EXPLORER」の値を 1 に設定します。

```

;////////////////////////////////////
; UPDATE_CONFIRMATION: 自動設定の実行時、F G設定ファイルの上書き確認メッセージを表示するか否か
; (表示しない: 0、表示する: 1) [デフォルトは 1]
;
;
; EXCLUDE_EXPLORER; 自動設定の対象外とするエクスプローラがあるか否かの確認メッセージ
; (表示しない: 0、表示する: 1) [デフォルトは 0]
;////////////////////////////////////
[MESSAGE]
UPDATE_CONFIRMATION=1
EXCLUDE_EXPLORER=1

```

図 3-15 エクスプローラ除外のメッセージ表示

システム設定ファイルを保存して閉じたら、あらためて図 3-14 の状態から「自動設定」をクリックします。クリック直後、図 3-16 に示す、フォルダグループから除外したいフォルダ（エクスプローラ）の最小化を促すメッセージが表示されます。

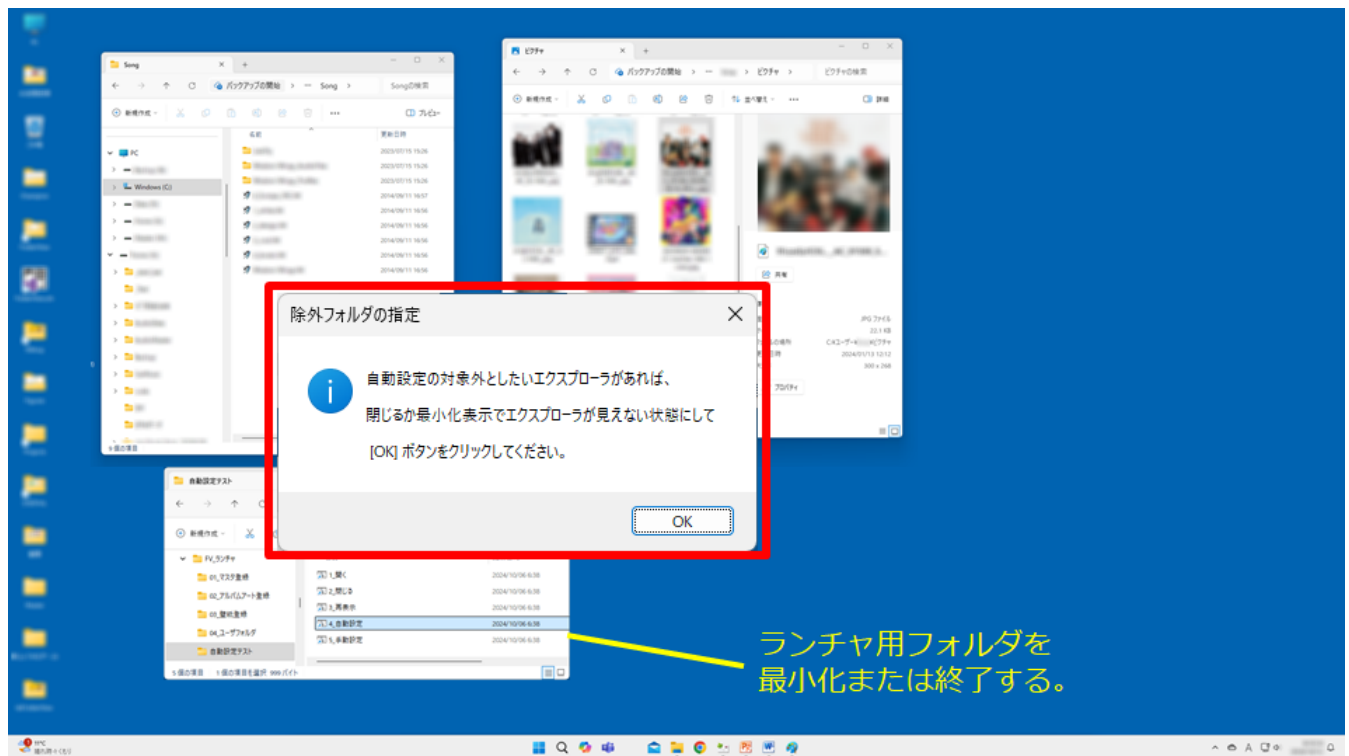


図 3-16 「除外フォルダの設定」ダイアログの表示

上図のメッセージが出ている状態で、ランチャ用のエクスプローラを「最小化」するか「終了」して画面
上に見えないようにしてください。

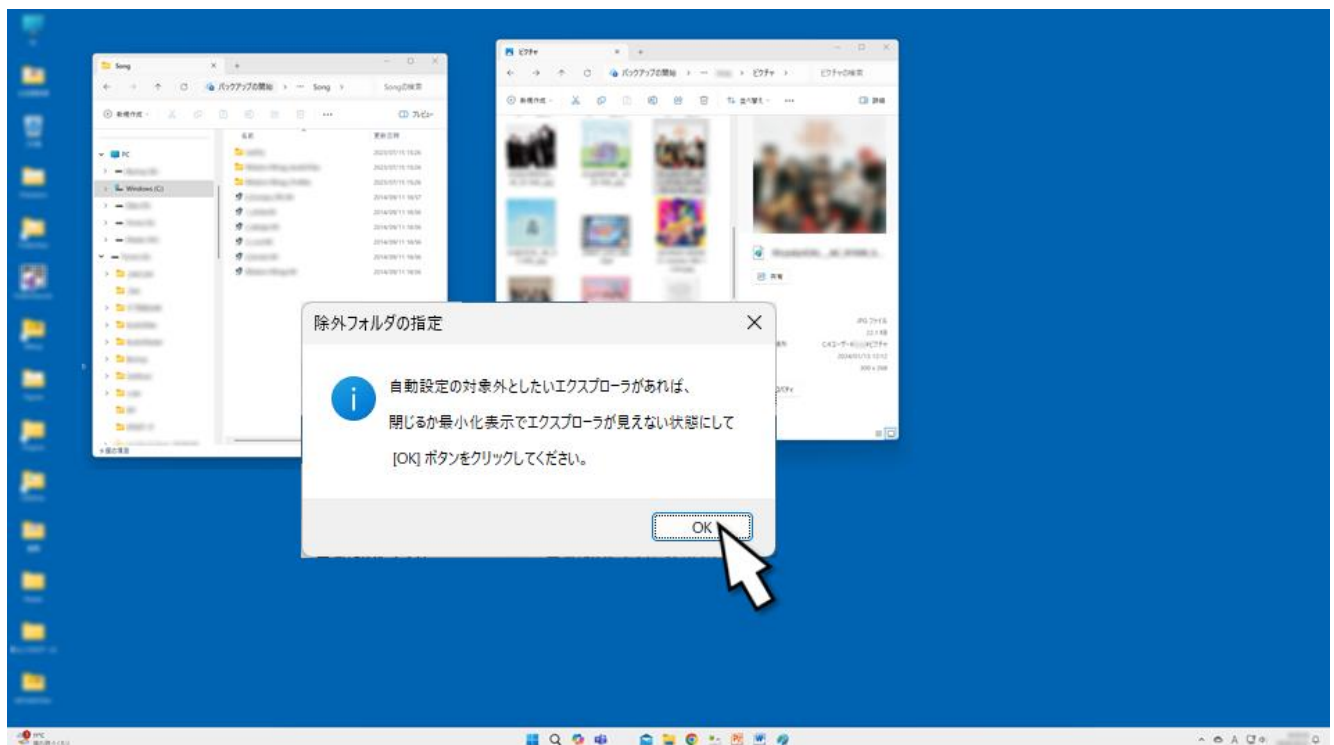


図 3-17 ランチャ用エクスプローラの除外

この状態で [OK] ボタンをクリックしてメッセージを閉じると、ランチャ用エクスプローラを除外する
形で自動設定を行うことができます。

最小化して画面に見えていないフォルダ（エクスプローラ）は、自動設定を行う際、記録するフォルダグループからは除外されます。

3.5 手動設定

任意のフォルダグループに対して、「手動設定」を選択することで、そのフォルダグループ用に保存されている FG 設定ファイルをメモ帳で開き、手動で設定値を変更することができます。

例として、3.4.2で自動設定を行ったフォルダグループの FG 設定ファイルを開く手順を以下に示します。

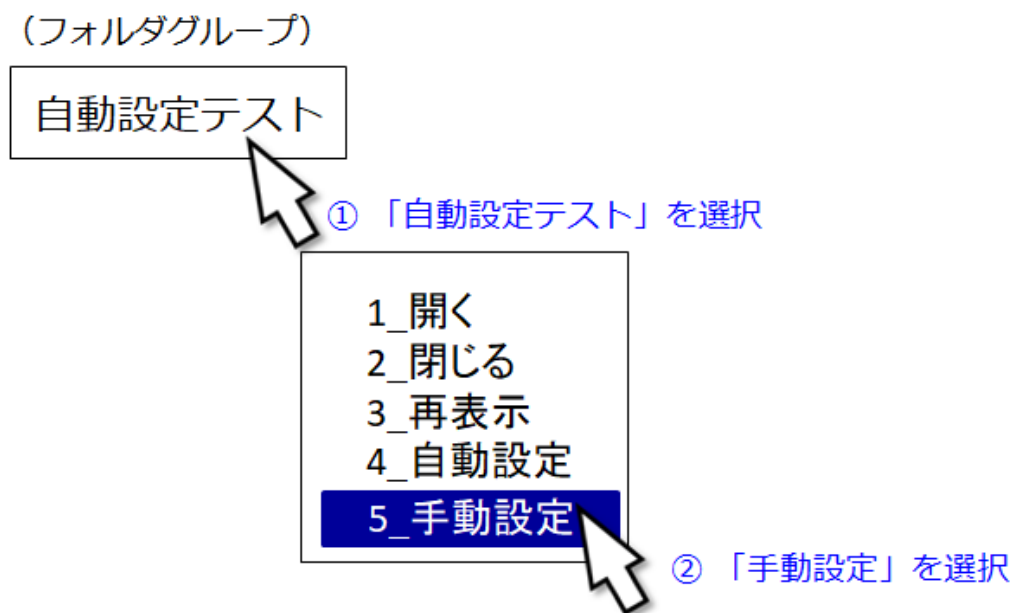


図 3-18 フォルダグループの手動設定

FG 設定ファイル が Windows 標準のメモ帳で開きます。上図の操作を行うと FG 設定ファイルの起動は排他制御が可能なため、別でエディタ（メモ帳含む）を起動して FG 設定ファイルを開くのではなく、必ず上図の操作で FG 設定ファイルを開くことをおすすめします。

一方、フォルダグループ「自動設定テスト」で記録されている2つのフォルダは、以下に示すように微妙に始点の Y 座標がずれています。



図 3-19 フォルダ位置（Y 座標の違い）

実際に FG 設定ファイルの内容を見ると、以下に示すようにフォルダ始点の Y 座標が同じではありません。フォルダの高さ (HEIGHT) も微妙に異なっています。

```
FG_設定ファイル.ini
ファイル 編集 表示
; //////////////////////////////////////
; // FG 設定ファイル
; // -----
; // フォルダグループ名: 自動設定テスト
; //////////////////////////////////////
;
; 【手動設定項目】
;
; ■ナビゲーションウィンドウ
;   NAVI_PANE (非表示: 0、表示: 1、デフォルト: -1)
; ■詳細ウィンドウ/プレビューウィンドウ
;   SIDE_PANE (非表示: 0、プレビュー表示: 1、詳細表示: 2、デフォルト: -1)
;
; (※) デフォルトの場合は全てのフォルダがシステムの設定に従って表示されます。

[FOLDER_1]
PATH=C:\Users\taro\Documents\SSW
NAVI_PANE=1
SIDE_PANE=0
VIEW_MODE=4
ICON_SIZE=16
X=203
Y=164
WIDTH=680
HEIGHT=766

[FOLDER_2]
PATH=C:\Users\taro\Pictures
NAVI_PANE=0
SIDE_PANE=2
VIEW_MODE=1
ICON_SIZE=96
X=958
Y=138
WIDTH=769
HEIGHT=760
```

フォルダ 1 の Y 座標 164

フォルダ 1 の HEIGHT 766

フォルダ 2 の Y 座標 138

フォルダ 2 の HEIGHT 760

行 37、列 1 | 736 文字 | 100% | Windows (CRLF) | UTF-8 (BOM 付き)

図 3-20 自動設定によるフォルダの位置とサイズ

複数のフォルダの位置とサイズを自動設定で合わせるのは難しいので、手動設定で合わせてみましょう。開いているメモ帳を直接手動で編集して、Y座標を150、高さを760とします。

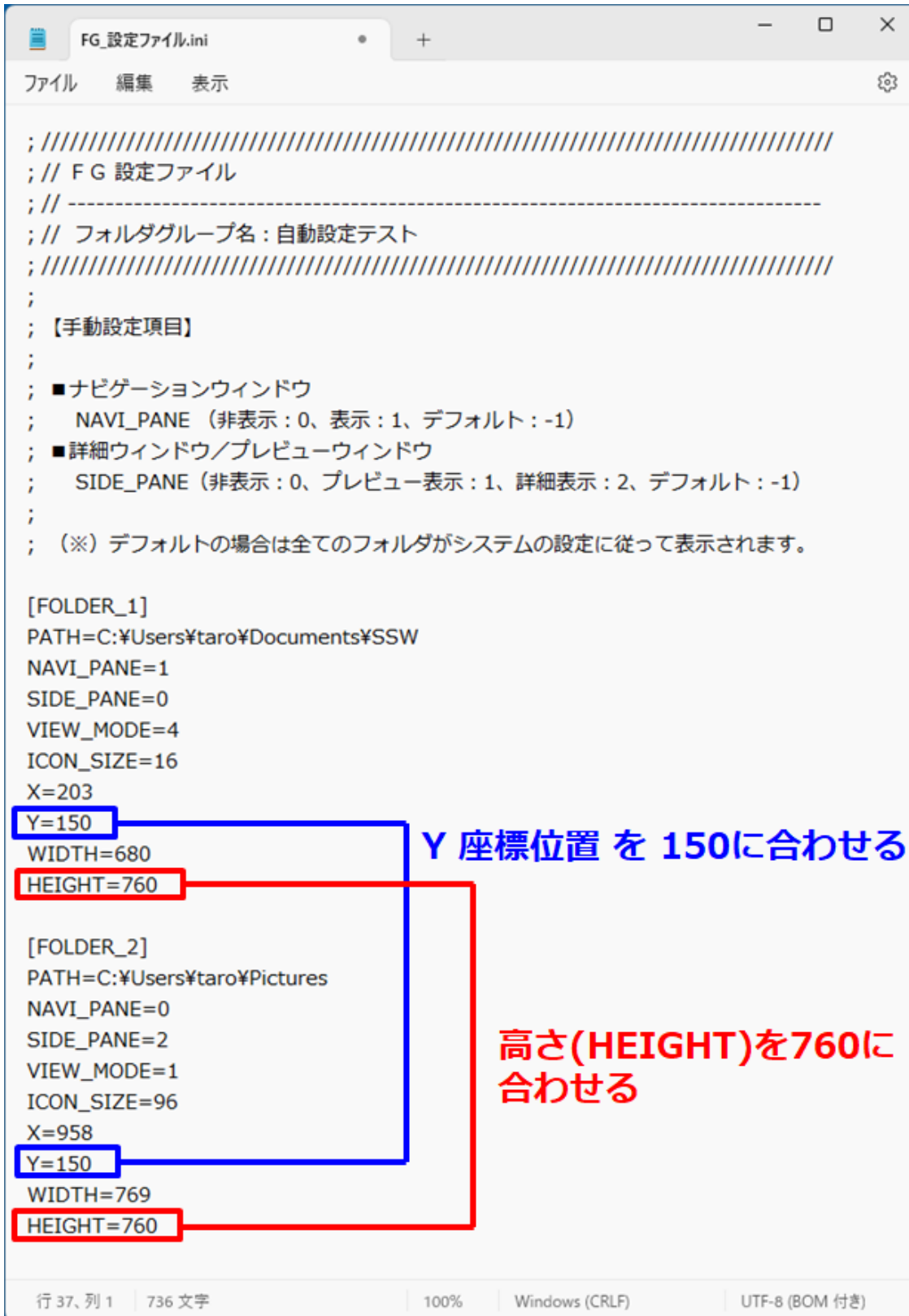


図 3-21 フォルダ位置・サイズの手動設定

手動で設定値を変更したら、ファイルメニューから「保存」を選択後、メモ帳を終了します。

フォルダグループ「自動設定テスト」の設定情報を手動で変更しましたので、新しい設定でフォルダビューが表示されることを確認します。以下の手順でフォルダグループ「自動設定テスト」を再表示します。

(フォルダグループ)

自動設定テスト

① 「自動設定テスト」を選択

1_開く
2_閉じる
3_再表示
4_自動設定
5_手動設定

② 「再表示」を選択

図 3-22 フォルダグループの再表示

この操作で、一旦画面上に表示されていた古い設定によるフォルダグループが消去され、あらためて新しい設定に基づいてフォルダグループがフォルダビューに表示されます。再表示されたフォルダビューでは、手動設定で変更した通り、いずれのフォルダも Y 座標が 150、高さが 760 で表示されています。

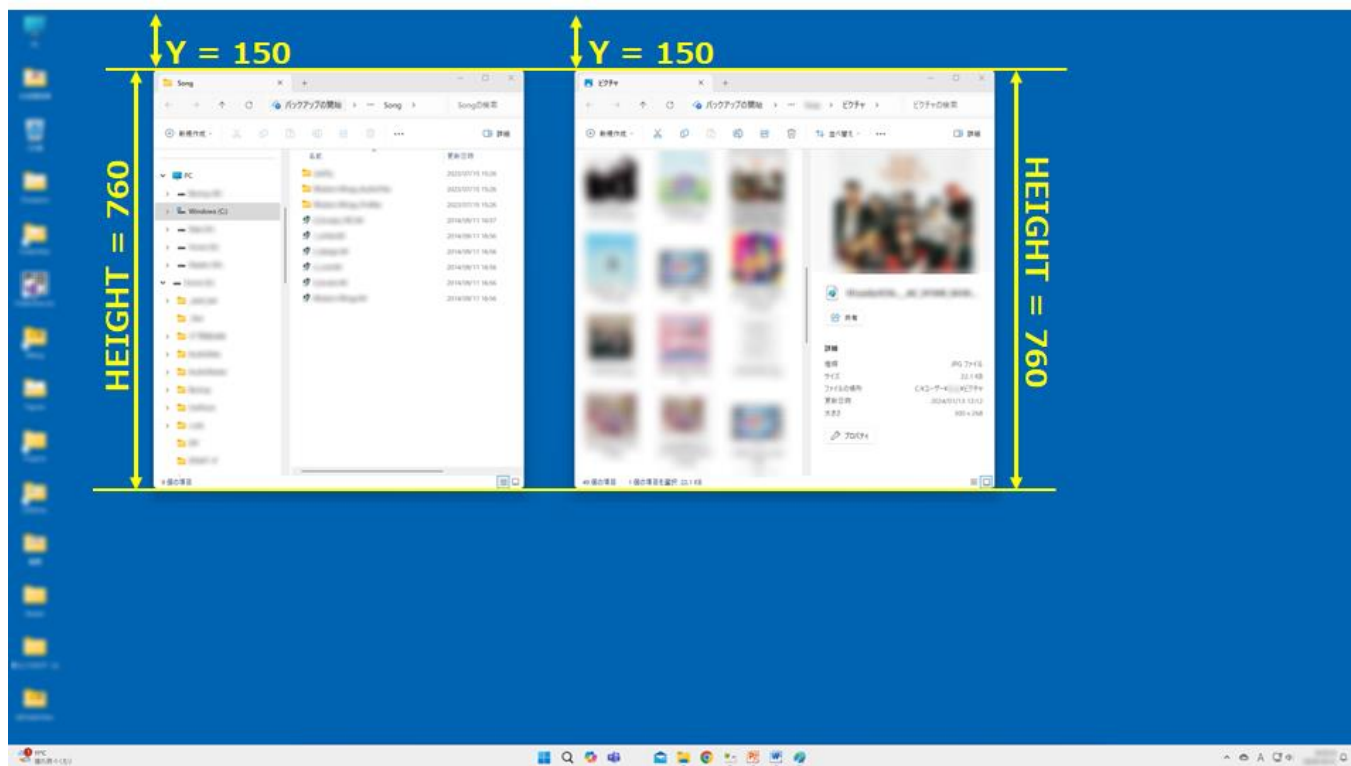


図 3-23 再表示後のフォルダビュー

第4章 フォルダビュー共通の操作

特定のフォルダグループではなく、フォルダビュー全体に対して共通の操作を行うことができます。

4.1 フォルダビューを閉じる

以下の操作で、画面上に表示されている全てのフォルダグループを含むフォルダビューを消去することができます。まず、画面上に以下のようなフォルダビューが表示されているとします。



図 4-1 フォルダビューを閉じる前の状態

この状態で、以下の操作を行います。

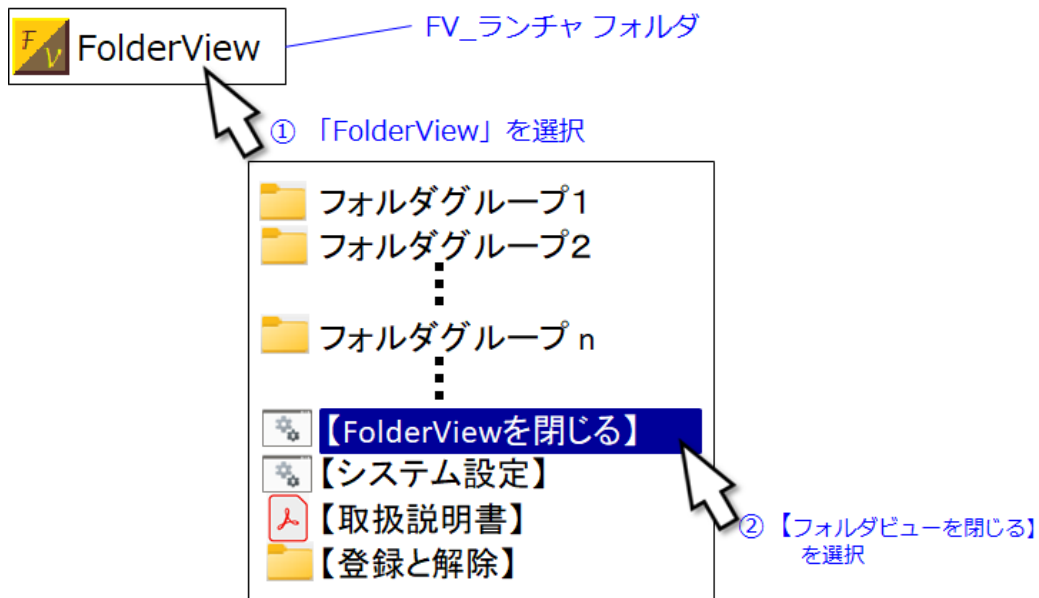


図 4-2 フォルダビューを閉じる操作

図 4-2 の操作で、画面上に表示されている全てのフォルダグループ（以下の例では FG1 と FG2）が同時に消去されます。（点線は実際には見えません）

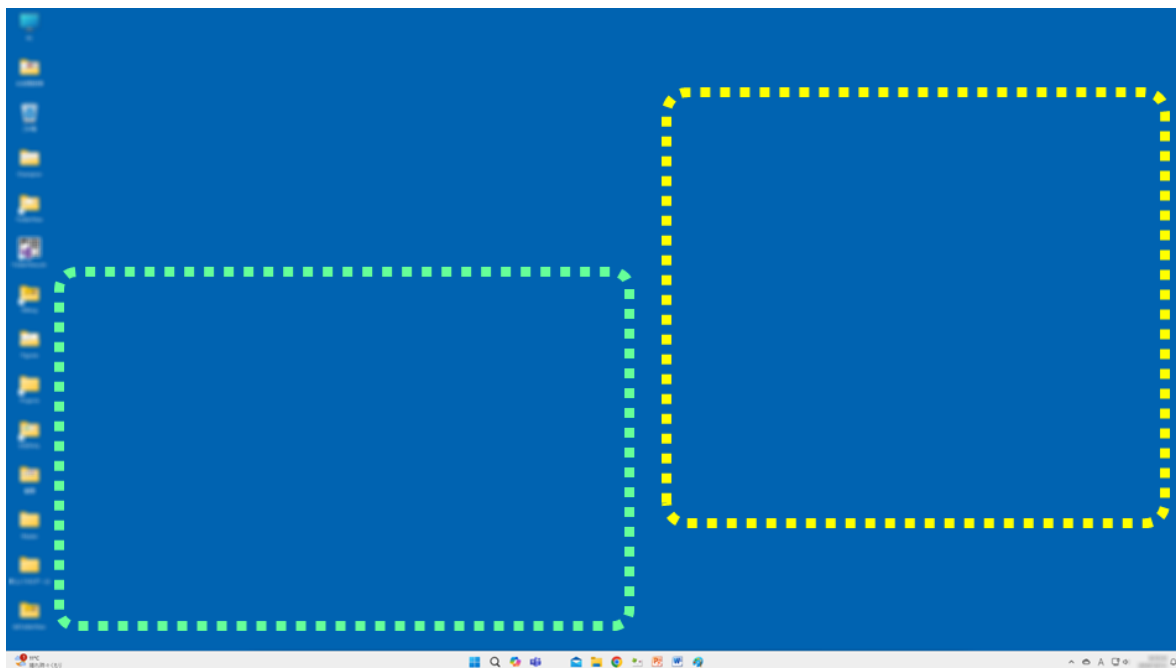


図 4-3 フォルダビューを閉じた後の状態

4.2 システム設定

システムの各種設定を行うことができます。以下の操作でシステム設定ファイルがメモ帳で起動されます。

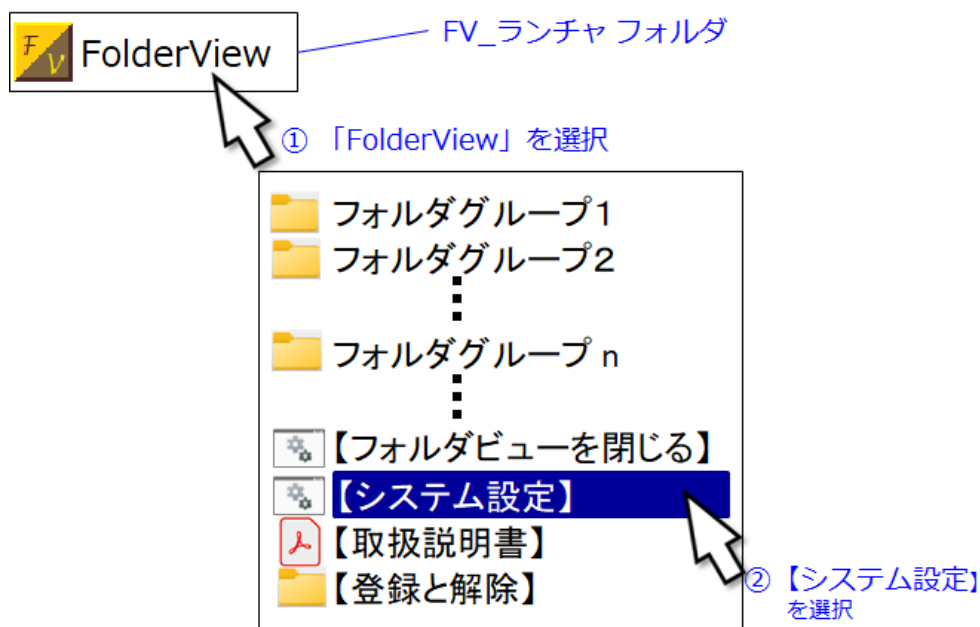


図 4-4 システム設定ファイルを開く操作

システム設定ファイルを誤って削除してしまった場合は、任意のフォルダグループに対して「開く」「閉じる」等何らかの操作を行ったタイミングで、デフォルトの状態として自動で再作成されます。

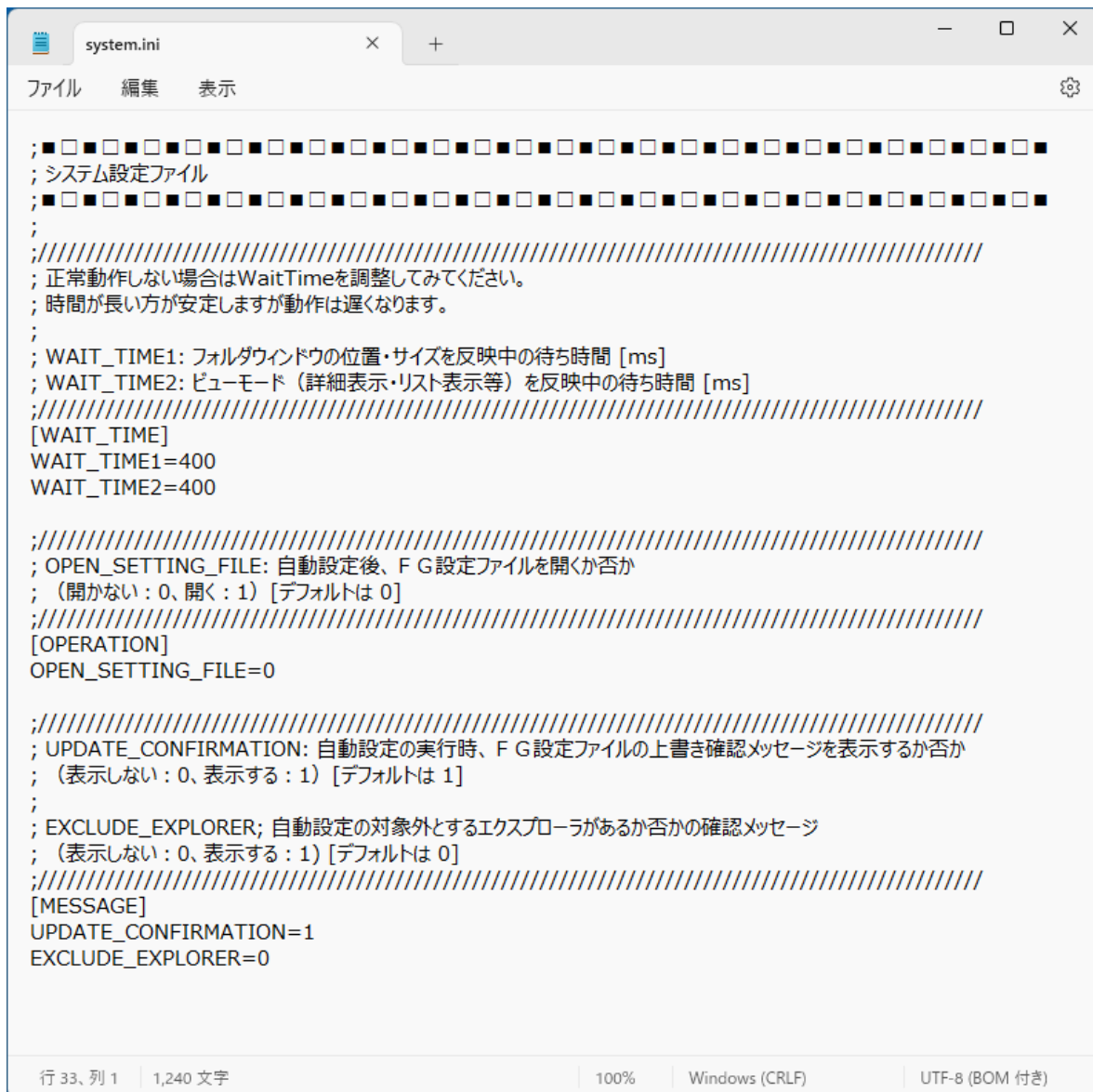


図 4-5 システム設定ファイル

このシステム設定ファイルで各種設定が終わったら、メモ帳を保存して閉じてください。

各種設定項目について次に示します。

4.2.1 WAIT TIME

WAIT_TIME1 および WAIT_TIME2 は、任意のフォルダを、指定した位置・サイズ・ビューモードで画面上に正しく表示するために重要なパラメータです。

通常、画面上にフォルダが表示されるときは、一気に表示されるわけではなく、以下の3つの工程を経て表示されます。

- ① フォルダを表示する（エクスプローラの起動）
- ② フォルダを指定した位置・サイズで表示する。
- ③ フォルダのビューモードを変更する。

図示すると以下ようになります。

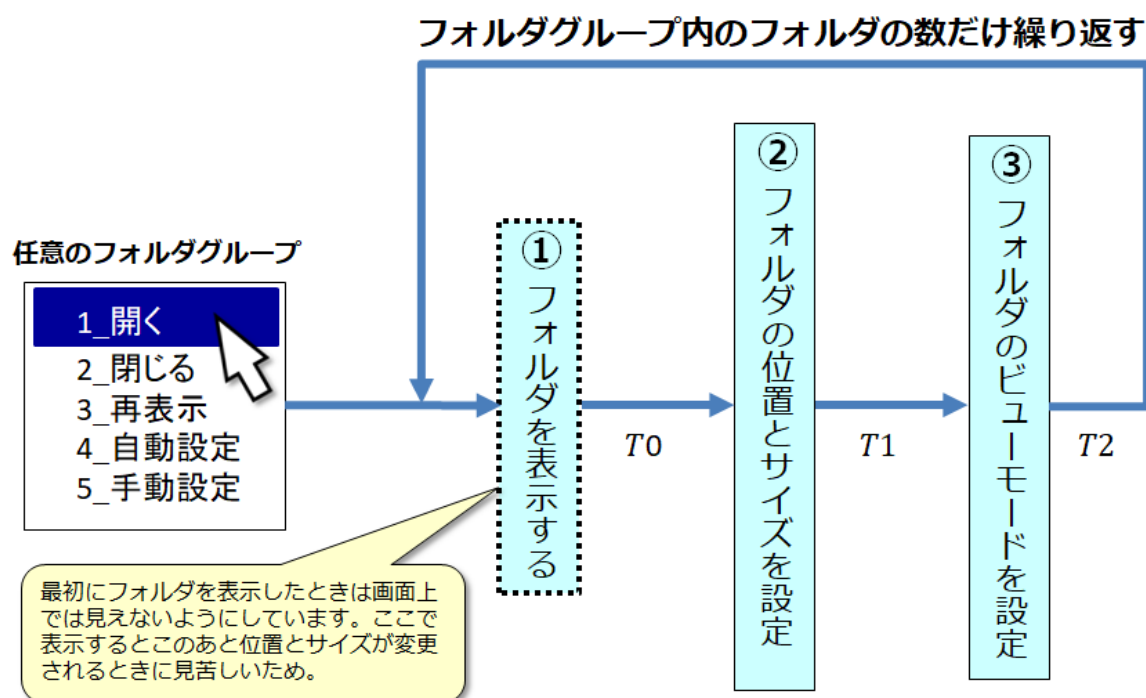


図 4-6 フォルダが画面上に表示される順序

上図で①、②、③のいずれの処理も、瞬時で行われるわけではありません。それぞれの処理に多少の時間が必要になるため、時間間隔 T_0 , T_1 , T_2 が必要になります。 T_0 に関しては、適切なウィンドウのハンドルを取得するというシステム内部の処理で確保されますが、 T_1 と T_2 はそのような手段をとれないため、強制的に待ち時間（WaitTime）を設けることで時間間隔を確保しています。その待ち時間 T_1 と T_2 が、それぞれシステム設定ファイルで設定する `WAIT_TIME1` と `WAIT_TIME2` になります。

`WAIT_TIME1` と `WAIT_TIME2` のデフォルト値は 400 [ms] としていますが、この数値はお使いの PC スペックに依存します。特に古い PC 等、低スペックの環境で使用する際は、動作が不安定になる可能性がありますので、その場合はこの値を大きく設定してください。逆にハイスペックの PC をご使用の方は、この値を小さくすることで処理速度が速くなり、より快適に使用できます。ご使用の PC 環境に合った適切な数値を設定してください。

本ソフトウェアが問題なく動いている場合は、`WAIT_TIME` の調整は不要です。
動作に問題があるときは `WAIT_TIME` を少し大きくしてみてください。

4.2.2 OPEN_SETTING_FILE

3.4に示す自動設定を行った後、毎回すぐに手動で設定値を変更する場合、自動設定を行った後、自動でFG設定ファイルを開くように設定することができます。その場合、OPEN_SETTING_FILEを1に設定します。デフォルトは0に設定されています。

以下に、OPEN_SETTING_FILEの設定の違いによる動作の相違点を示します。

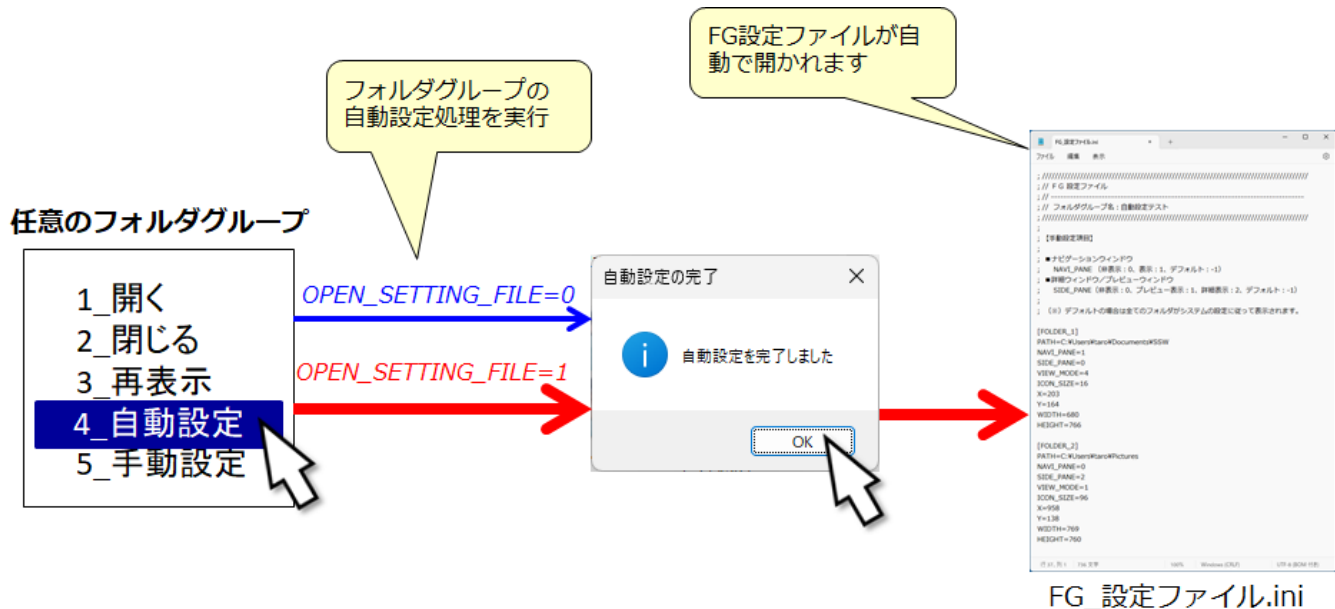


図 4-7 OPEN_SETTING_FILE の設定

4.2.3 UPDATE_CONFIRMATION

3.4に示す自動設定を行った後、FG設定ファイルの上書きを行います。データ保護の観点から、デフォルトではこのときに上書き確認のメッセージを表示します。

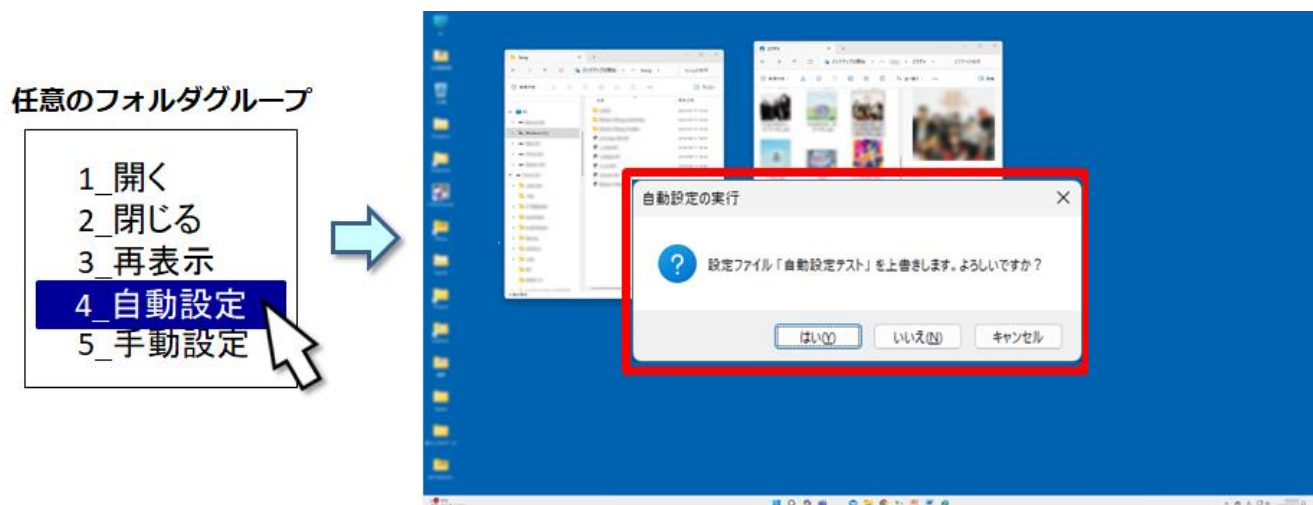


図 4-8 自動設定の上書き確認メッセージ

システム設定ファイルのUPDATE_CONFIRMATIONを0に設定することで、上書き確認メッセージを出さずに強制的に自動設定を上書き保存できます。デフォルトでは1（表示する）に設定されています。

4.2.4 EXCLUDE_EXPLORER

3.4に示す自動設定の実行操作を行った後、実際に自動設定を行う前にメッセージを表示して、登録したくないフォルダがあれば除外するための猶予を与えることができます。本ソフトウェアをエクスプローラで使用する場合、自動設定操作をした後でランチャ用エクスプローラを登録対象から除外する場合に有効です。そのためには、システム設定ファイルで EXCLUDE_EXPLORER を 1 に設定します。デフォルトでは 0 に設定されています。以下に EXCLUDE_EXPLORER=1 に設定したときの自動設定時の動作を示します。

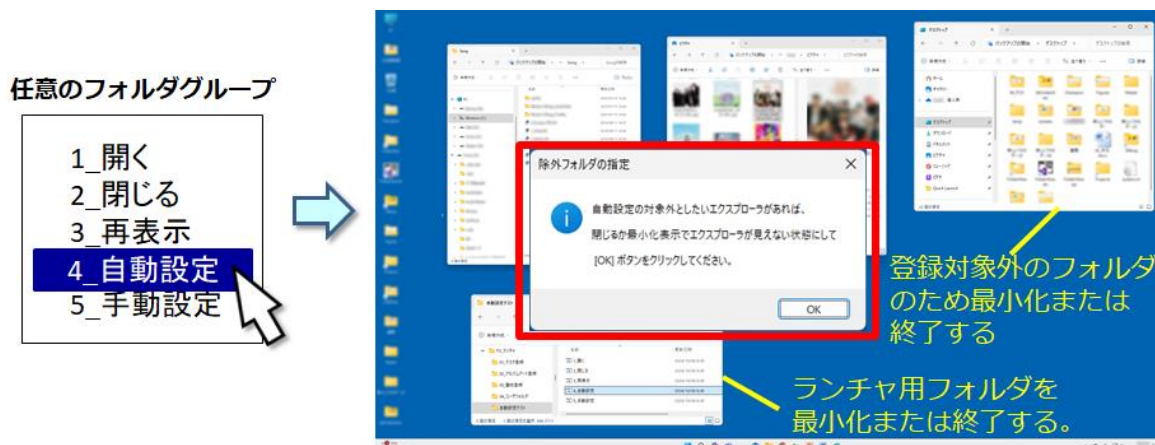


図 4-9 除外したいフォルダが存在する場合

任意のフォルダグループに対して自動設定をクリックした直後、自動設定処理を行う前に、上図のようなメッセージが表示されます。この状態ではまだフォルダグループの対象フォルダを検索する前ですので、不要なフォルダ（エクスプローラ）がある場合は、手動で終了するかまたは最小化します。

上図の例では一つのランチャと一つのフォルダ（エクスプローラ）が登録不要であるため、それらのエクスプローラを手動で終了するか、最小化してエクスプローラを画面上から見えない状態にします。

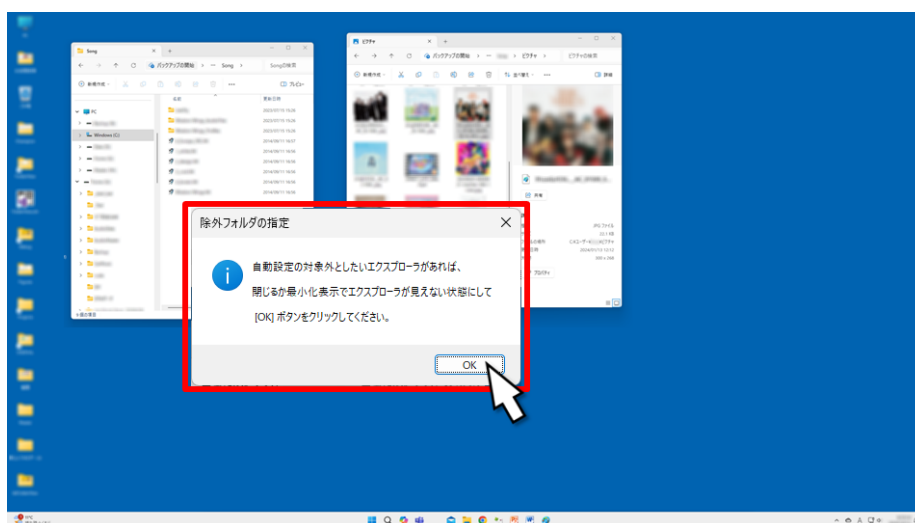


図 4-10 不要フォルダの除外後

上図のように、自動設定の対象フォルダのみを表示した状態で、[OK]ボタンをクリックしてメッセージを閉じると、自動設定処理が行われます。

4.3 取扱説明書

以下操作により、本ソフトウェアの取扱説明書（PDF ファイル）を開くことができます。

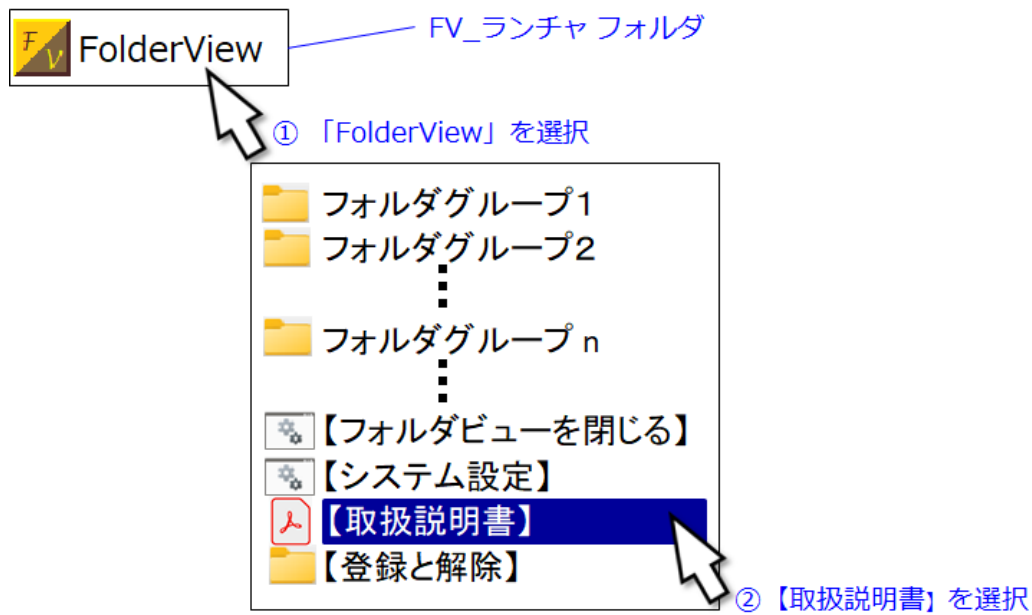


図 4-11 取扱説明書を開く操作



図 4-12 取扱説明書のオープン

4.4 登録と解除

以下操作により、新しいフォルダグループの追加、およびフォルダビューへの登録と解除を行います。

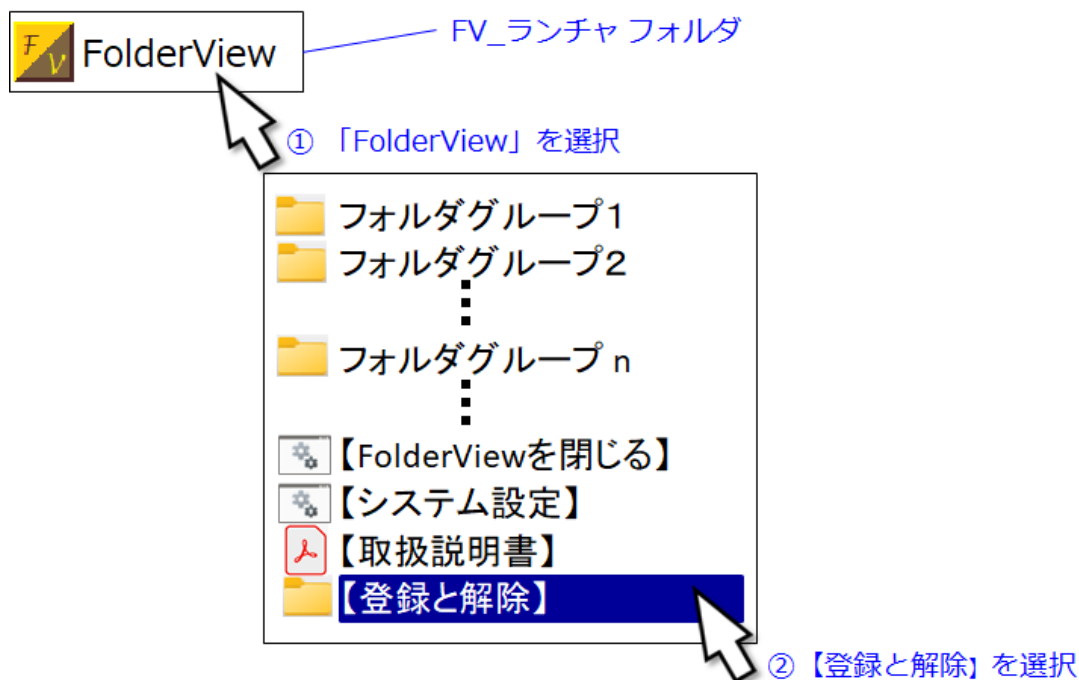


図 4-13 登録と解除の操作

上記操作により、図 2-1 に示す「FV_登録編集」フォルダがエクスプローラで表示されます。

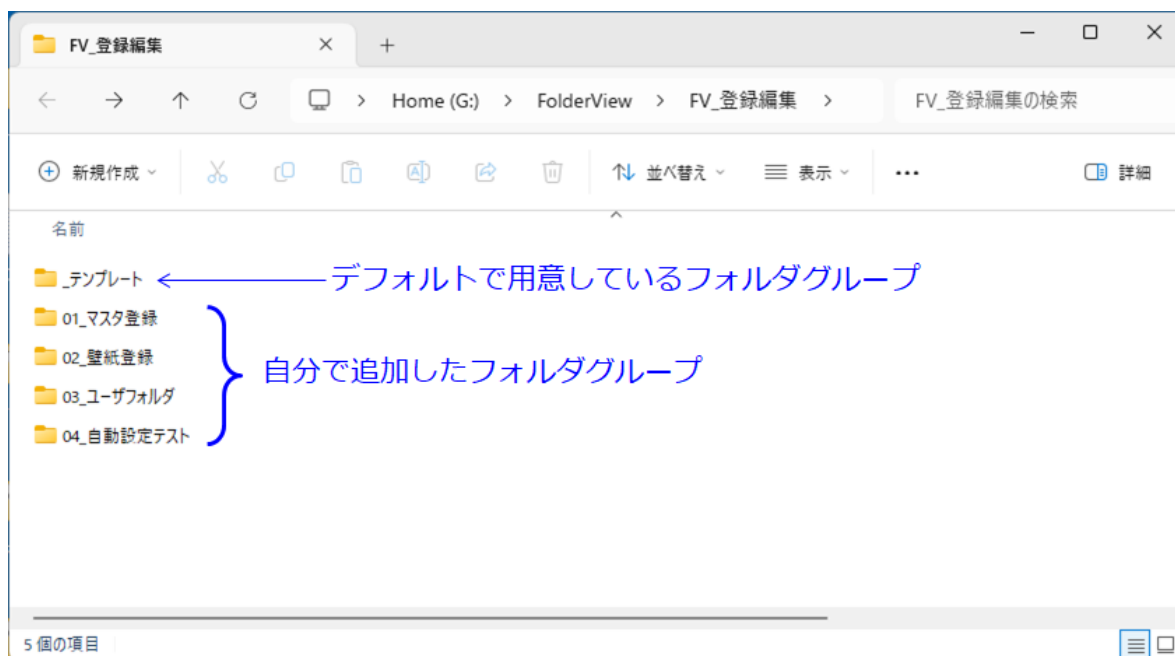


図 4-14 FV_登録編集フォルダの内容

このフォルダには、セットアップ時に用意されている「_テンプレート」フォルダグループや、自分で作成したフォルダグループが保管されています。各フォルダグループのフォルダには、FG 設定ファイルやフォルダビューへの登録・解除を行うスクリプトファイル等が存在します。

4.4.1 新規フォルダグループの作成

新しいフォルダグループを作成するためには、既存のフォルダグループのフォルダをコピーします。セットアップ直後には「_テンプレート」しかありませんので、それをコピーします。もし既に、自分で作成したフォルダグループがある場合は、自分で作成したフォルダグループのフォルダをコピーすることも可能です。ここでは、自分が過去に作成したフォルダグループ「03_ユーザフォルダ」をコピーして別のフォルダグループ「05_ユーザフォルダ 2」を新たに作成する方法を示します。

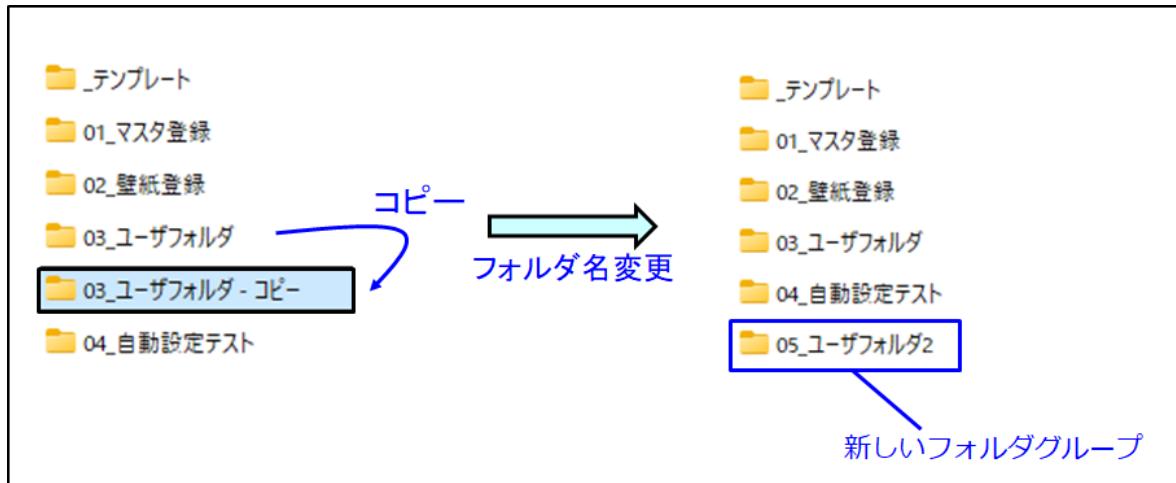


図 4-15 新しいフォルダグループの作成

上図の操作で新しいフォルダグループを作成しましたが、これだけではまだフォルダビューに表示することはできません。引き続き、フォルダビューへの登録を行います。

4.4.2 フォルダビューへの登録

4.4.1 で新規作成したフォルダグループ「ユーザフォルダ 2」を、フォルダビューに登録します。そのために、「05_ユーザフォルダ 2」フォルダを開き、その中にある「FV_登録.vbs」ファイルをダブルクリックします。

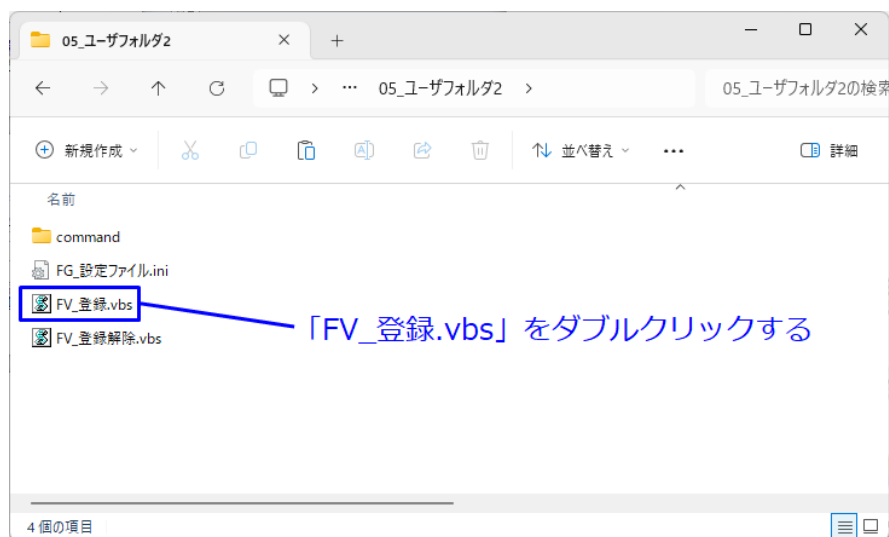


図 4-16 フォルダビューへの登録操作

フォルダビューへの登録が完了すると以下のメッセージが表示されますので、[OK]ボタンをクリックして閉じてください。

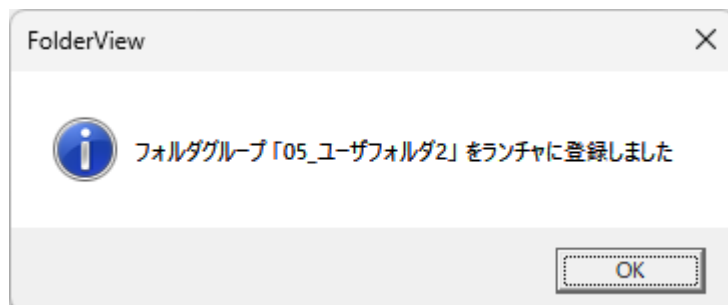


図 4-17 フォルダビュー登録の完了メッセージ

フォルダビューへの登録が完了すると、ランチャに以下のように「05_ユーザフォルダ 2」が表示され、フォルダビューを開くことができるようになります。

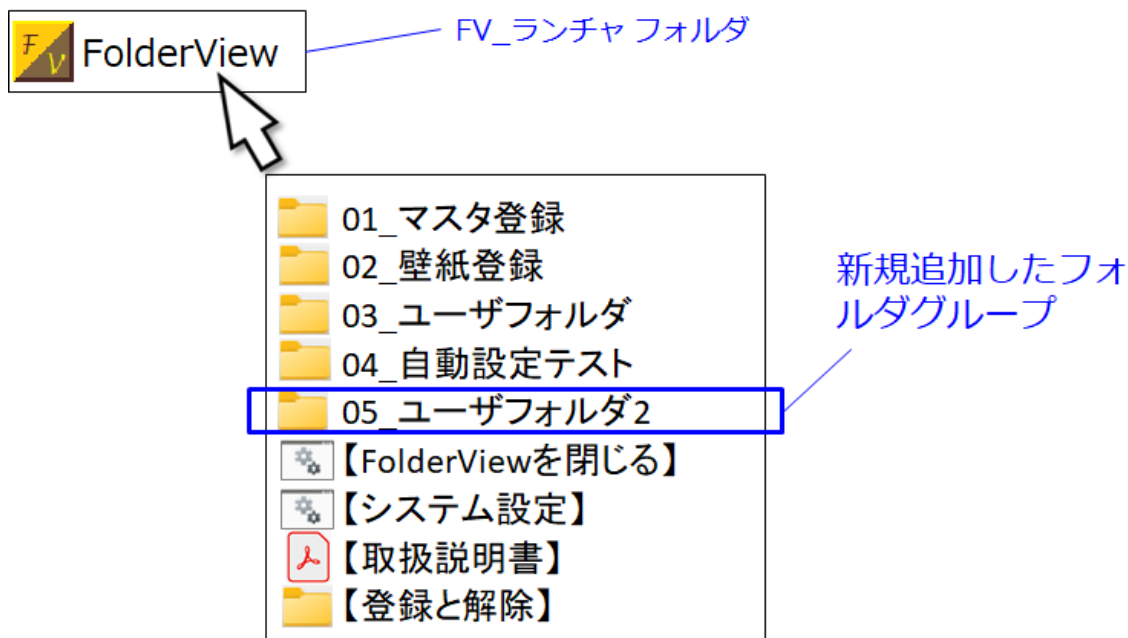


図 4-18 新規追加したフォルダグループのランチャ表示

この状態で「05_ユーザフォルダ 2」フォルダグループを開くと、元になった「03_ユーザフォルダ」と同じ状態でフォルダビューが表示されますので、それに対して自動設定または手動設定により、「05_ユーザフォルダ 2」用にフォルダグループの設定をしてください。

なお「05_ユーザフォルダ 2」の FG 設定ファイルのヘッダ部にあるフォルダグループ名は、フォルダビュー登録直後はもとの「03_ユーザフォルダ」のままになっています。

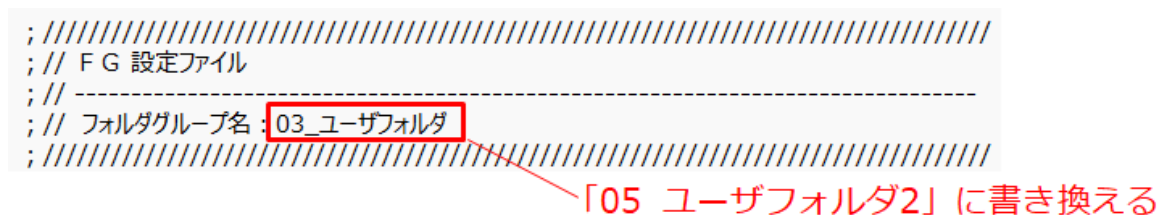


図 4-19 FG 設定ファイルのフォルダグループ名

このフォルダグループ名は動作に影響しませんが、あとで開いたときに間違えないよう、手動設定のみを行う場合は、手動でフォルダグループ名を更新することをおすすめします。ただし自動設定を一度でも行くと、このフォルダグループ名は自動で更新されますので、その場合は手動で更新する必要はありません。

4.4.3 フォルダビューの登録解除

フォルダビューに登録済みのフォルダグループ「05_ユーザフォルダ 2」（例）は、以下の操作で登録を解除することができます。

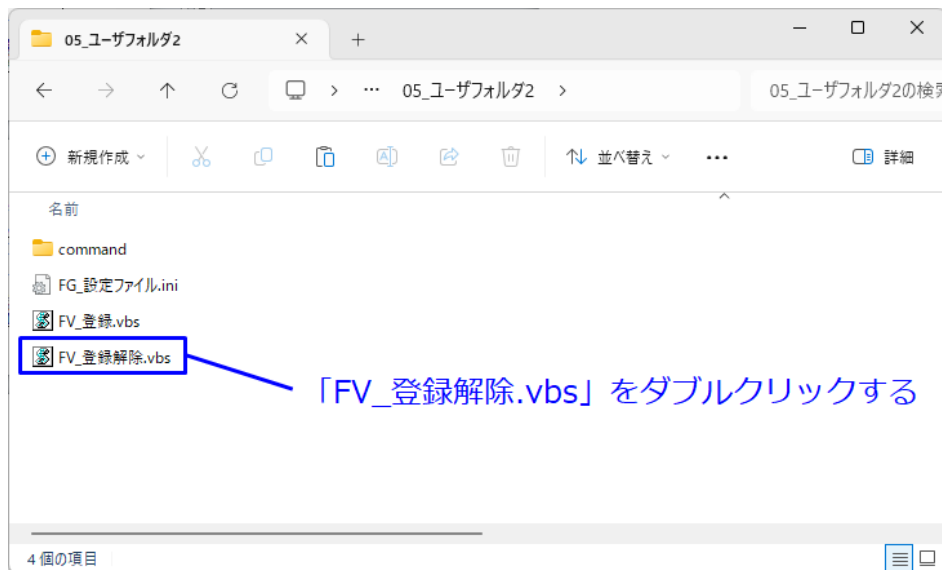


図 4-20 フォルダビューの登録解除操作

フォルダビューの登録解除が完了すると以下のメッセージが表示されますので、[OK]ボタンをクリックして閉じてください。

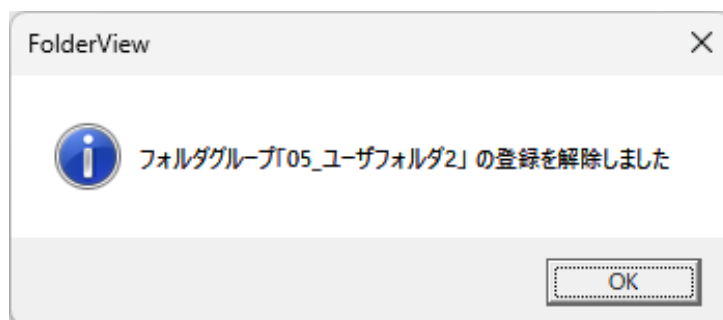


図 4-21 フォルダビュー登録解除の完了メッセージ

フォルダビューの登録解除が完了すると、図 4-22 に示すように、ランチャに「05_ユーザフォルダ 2」が表示されなくなります。

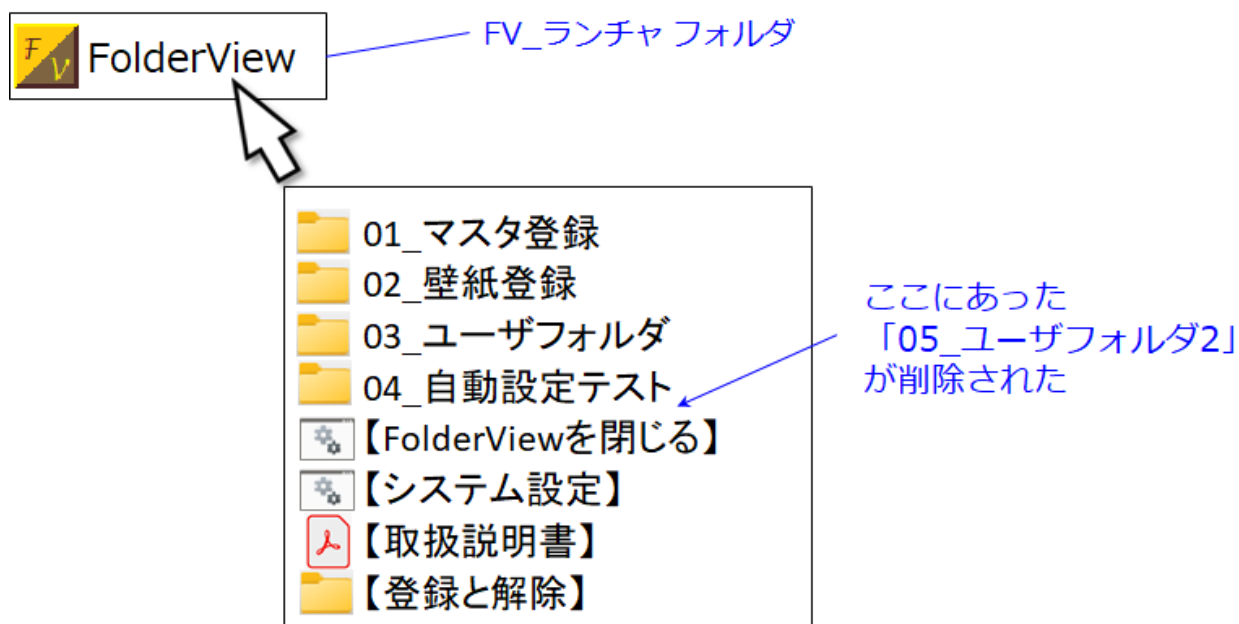


図 4-22 フォルダグループの登録解除後

登録解除が完了したことで、ランチャから「05_ユーザフォルダ 2」は開くことができなくなりました。
あらためてランチャから表示できるようにする場合は、4.4.2の操作を行ってください。

第5章 作ってみよう

本ソフトウェアを用いて作業の効率化を図るために、実際にフォルダグループを作ってみましょう。普段よくやる、手動で複数のエクスプローラを用いて行うファイル操作等があれば、一度フォルダビューに登録すれば、毎度の作業の効率化を図ることができます。フォルダビューに登録する工程順に以下に示します。

5.1 シナリオをまとめる

新しいアプリケーションを PC にインストールした際、デスクトップや Program Files フォルダ等に行うファイル(exe)やそのショートカットファイルがコピーされます。そのショートカットをいくつかのフォルダにコピーするというシナリオを考えます。

(1) インストールしたアプリケーションのショートカットファイルを探す (その1)

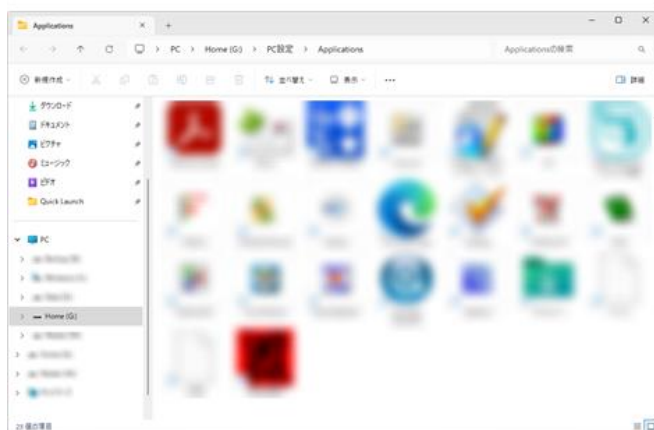
デスクトップフォルダにショートカットファイルがあるかを確認する。

(2) インストールしたアプリケーションのショートカットファイルを探す (その2)

C:\Program Files フォルダからアプリケーションの実行ファイルを見つける。

(3) アプリケーションのショートカットファイルを特定のフォルダにコピーする (その1)

アプリケーションを素早く起動するために、それらのショートカットファイルを格納するために自分で用意したフォルダがあるとします。そのフォルダにアプリケーションのショートカットファイルをコピーします。



要求項目

新しくインストールしたアプリケーションのショートカットをこのフォルダにコピーしたい

図 5-1 アプリケーションのショートカットフォルダ

(4) アプリケーションのショートカットファイルを特定のフォルダにコピーする (その2)

アプリケーションを直接起動するのではなく、データファイルを右クリックしてそのアプリケーションで開けるようにしたい。

→ Windows で用意している SendTo フォルダに、アプリケーションのショートカットファイルをコピーします。

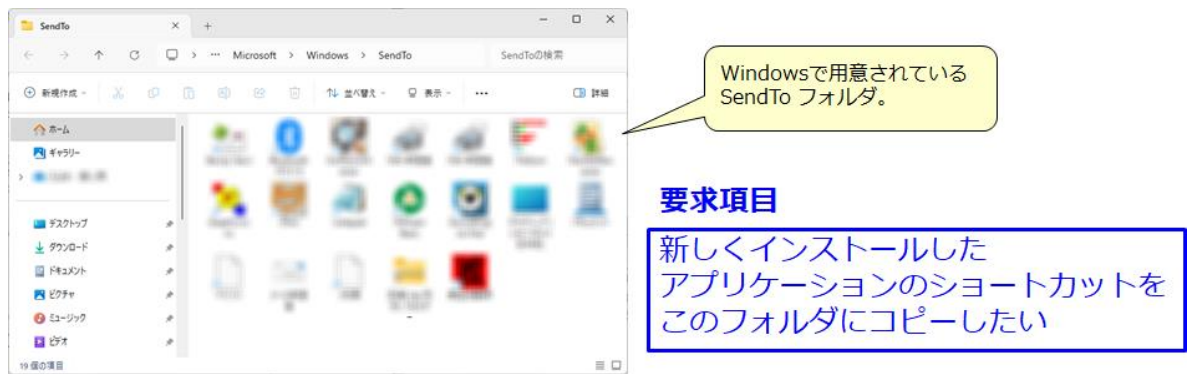


図 5-2 SendTo フォルダ

以上シナリオを整理することにより、要求内容が明確になりました。このシナリオを満足するための要求項目を以下のように定義します。

【要求項目】

- ① デスクトップフォルダにアプリケーションのショートカットファイルがあるかを確認したい。
- ② ①がなければ Program Files フォルダからアプリケーションの実行ファイルを見つけたい。
- ③ アプリケーションのショートカットファイルをアプリケーション用フォルダにコピーしたい。
- ④ アプリケーションのショートカットファイルを SendTo フォルダにコピーしたい。

5.2 フォルダグループを設計する

5.1 で導き出した要求項目から、作成するフォルダグループは、仮に Windows のユーザを taro とした場合、以下のような Path のフォルダで構成すればよいことが分かります。

- ① デスクトップフォルダ
⇒ C:\Users\taro\Desktop
- ② アプリケーションのインストールフォルダ
⇒ C:\Program Files
- ③ アプリケーションショートカット用フォルダ
⇒ G:\Applications
- ④ SendTo フォルダ
⇒ C:\Users\taro\AppData\Roaming\Microsoft\Windows\SendTo

さらに、上記 4 つのフォルダを詳細に設計すると、表 5-1 のようになります。

なお、フォルダグループ名称は、「アプリケーション追加」としましょう。

表 5-1 フォルダグループ「アプリケーション追加」のデザイン

	パス	位置・サイズ	表示ペイン	ビューモード
①	C:\Users\taro\Desktop	最も左	詳細	中アイコン
②	C:\Program Files	左から 2 番目	ナビ	詳細表示
③	G:\Applications	左から 3 番目	—	中アイコン
④	C:\Users\taro\AppData\Roaming\Microsoft\Windows\SendTo	最も右	—	詳細表示

5.3 フォルダグループを作成する

本ソフトウェアを用いて、5.2 で設計した内容をもとに、実際にフォルダグループを作成します。

5.3.1 フォルダグループの新規作成

セットアップした際に用意されている「_テンプレート」フォルダをコピーしてフォルダグループ「アプリケーション追加」を作成します。

まず、セットアップした「FolderView」フォルダの中にある「FV 登録編集」フォルダを開きます。その中にある「_テンプレート」フォルダをコピーし、コピーされたフォルダの名称を「アプリケーション追加」に修正します。

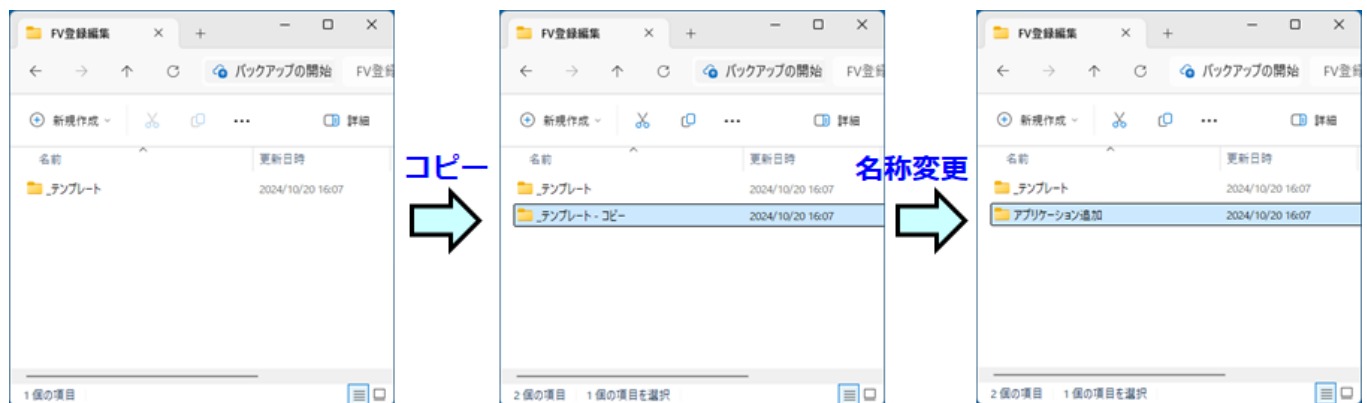


図 5-3 フォルダグループの作成

次に、コピーして作成したフォルダグループ「アプリケーション追加」をフォルダビューに登録します。

「アプリケーション追加」フォルダの中にある、「FV_登録.vbs」ファイルをダブルクリックします。登録が完了すると、メッセージが表示されます。

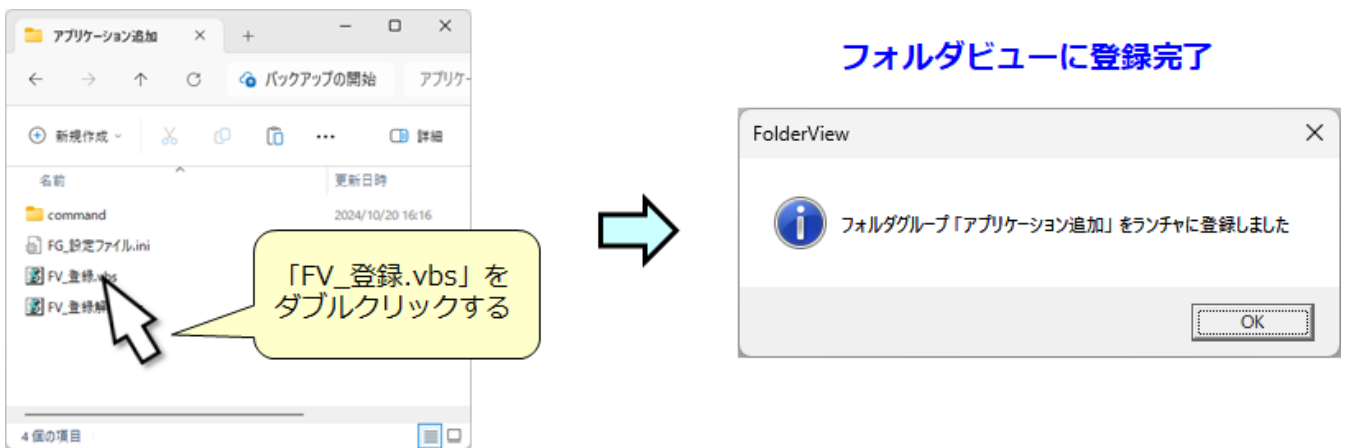


図 5-4 フォルダグループの登録完了

5.3.2 フォルダグループの自動設定

フォルダグループが登録されましたので、実際に画面上にフォルダ（エクスプローラ）を配置して、自動設定を行います。表 5-1 に従い、画面上に以下のようにフォルダを配置してみます。

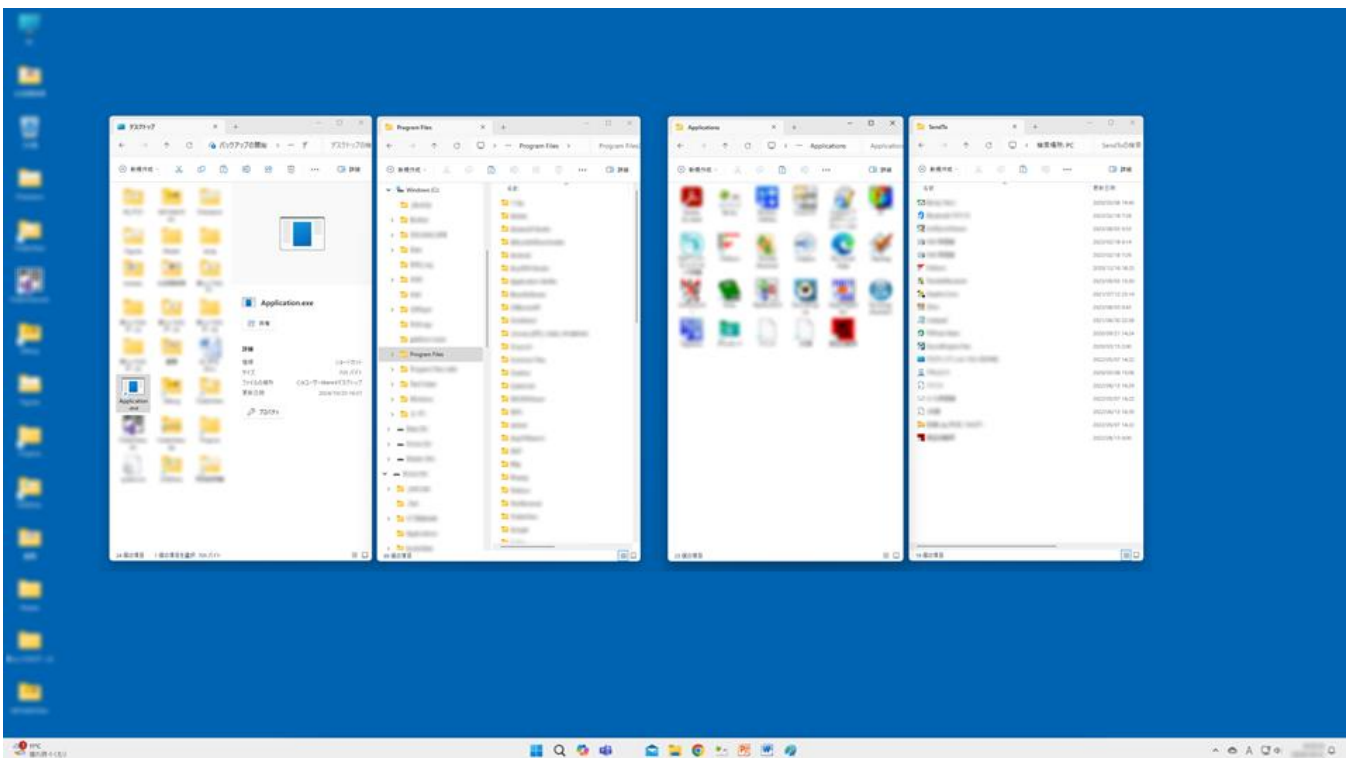


図 5-5 フォルダグループの配置

【ポイント】

- ・ 一番左のフォルダは、アプリケーションの詳細を確認できるように詳細ウィンドウを表示しています。
- ・ 左から二番目のフォルダは、様々なサブフォルダを確認できるようにナビゲーションウィンドウを表示しています。

次に、フォルダビューに表示したい順に、各フォルダのタイトルバーの何もないところをクリックします。(クリックするだけで結構です)



図 5-6 フォルダビューの表示順序設定

画面上の配置でよければ、フォルダグループ「アプリケーション追加」の「自動設定」を選択します。

フォルダグループ：
「アプリケーション追加」

- 1_開く
- 2_閉じる
- 3_再表示
- 4_自動設定
- 5_手動設定

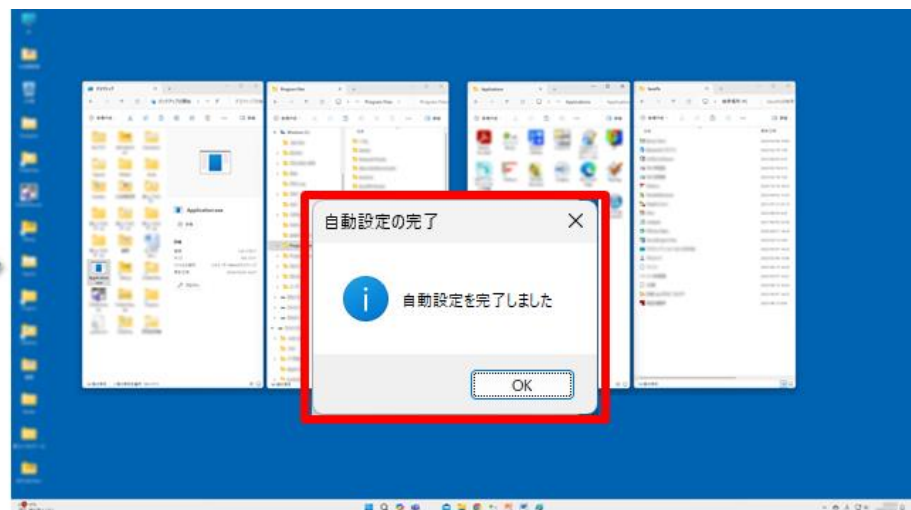


図 5-7 フォルダビューの自動設定完了

「自動設定」をクリックした後、上書き確認のメッセージが出てきた場合は、確認の上「はい」をクリックして次へ進めてください。フォルダグループの自動設定が完了したら、上図のメッセージが表示されますので、[OK] ボタンをクリックして閉じてください。

以上でフォルダグループの自動設定が完了です。

5.3.3 フォルダグループの手動設定

手動設定は必ずしも必要ありませんが、自動設定で保存された FG 設定ファイルの内容を確認する意味でも、一度開いて確認してみます。以下の操作で、FG 設定ファイルがメモ帳で開かれます。

表 5-1 に示すフォルダ①～④のそれぞれの設定が記録されていることが分かります。

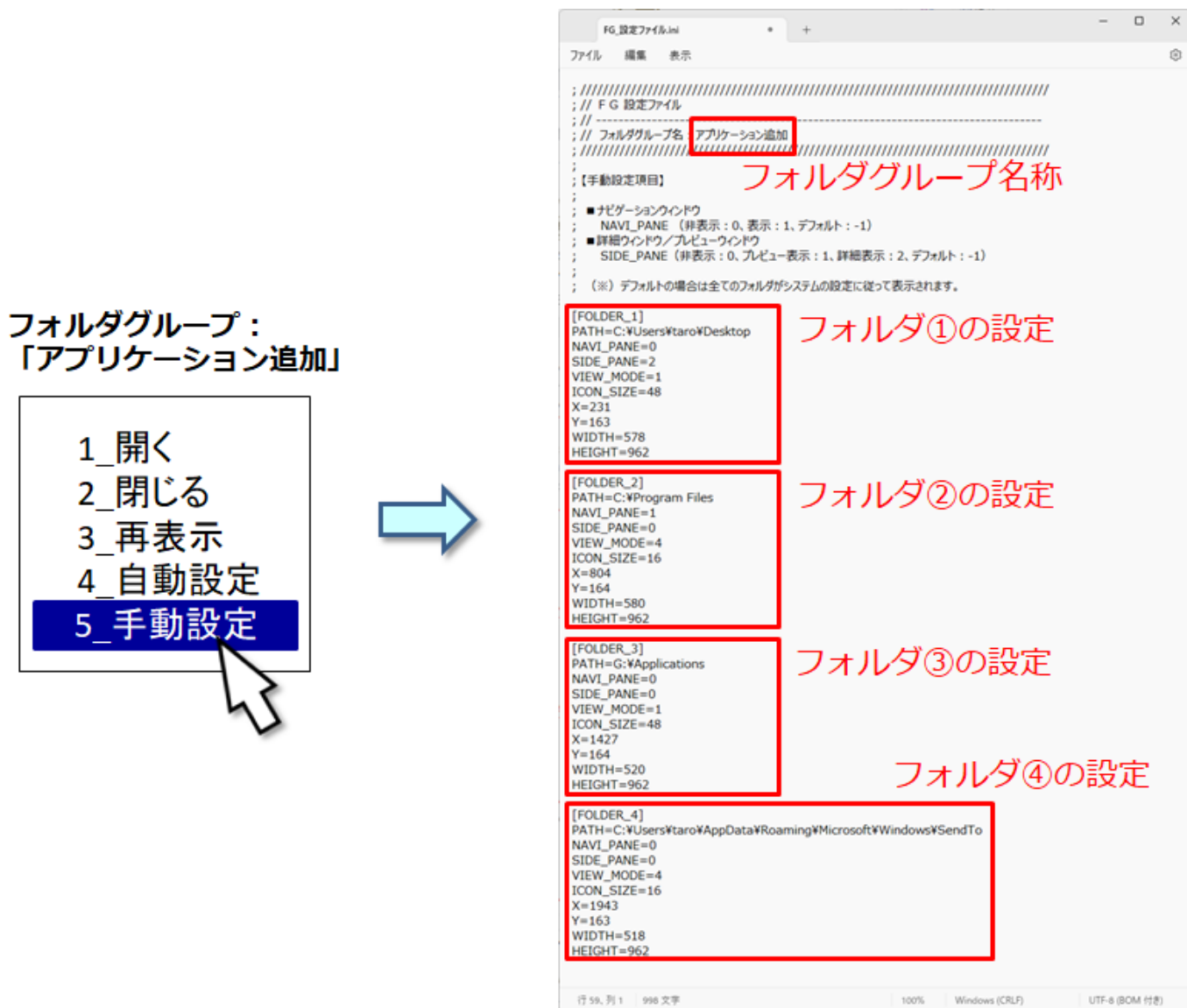


図 5-8 FG 設定ファイルに記録されている内容

フォルダ②とフォルダ③の間隔をもう少し広げるために、手動設定で位置を少し修正してみましょう。

フォルダ間隔を以前の設定にさらに 50 ピクセル広げるものとします。その場合、フォルダ③とフォルダ④の X 座標をそれぞれ 50 加算すればよいので、以下のような修正を施します。

```

; //////////////////////////////////////
; // F G 設定ファイル
; // -----
; // フォルダグループ名：アプリケーション追加
; //////////////////////////////////////
;
; 【手動設定項目】
;
; ■ ナビゲーションウィンドウ
;   NAVI_PANE (非表示：0、表示：1、デフォルト：-1)
; ■ 詳細ウィンドウ/プレビューウィンドウ
;   SIDE_PANE (非表示：0、プレビュー表示：1、詳細表示：2、デフォルト：-1)
;
; (※) デフォルトの場合は全てのフォルダがシステムの設定に従って表示されます。

[FOLDER_1]
PATH=C:\Users\Ytaro\Desktop
NAVI_PANE=0
SIDE_PANE=2
VIEW_MODE=1
ICON_SIZE=48
X=231
Y=163
WIDTH=578
HEIGHT=962

[FOLDER_2]
PATH=C:\Program Files
NAVI_PANE=1
SIDE_PANE=0
VIEW_MODE=4
ICON_SIZE=16
X=804
Y=164
WIDTH=580
HEIGHT=962

[FOLDER_3]
PATH=G:\Applications
NAVI_PANE=0
SIDE_PANE=0
VIEW_MODE=1
ICON_SIZE=48
X=1477
Y=164
WIDTH=520
HEIGHT=962

[FOLDER_4]
PATH=C:\Users\Ytaro\AppData\Roaming\Microsoft\Windows\SendTo
NAVI_PANE=0
SIDE_PANE=0
VIEW_MODE=4
ICON_SIZE=16
X=1993
Y=163
WIDTH=518
HEIGHT=962
  
```

フォルダ③のX座標を +50 した
(1427 → 1477)

フォルダ④のX座標を +50 した
(1943 → 1993)

図 5-9 フォルダグループの手動設定内容

手動で修正した後は、このファイルを保存してメモ帳を終了してください。

5.3.4 フォルダグループの再表示

手動設定が完了しましたら、保存した FG 設定ファイルをもとに、正しくフォルダビューが表示されることを確認します。以下の操作で、フォルダグループ「アプリケーション設定」を再表示します。

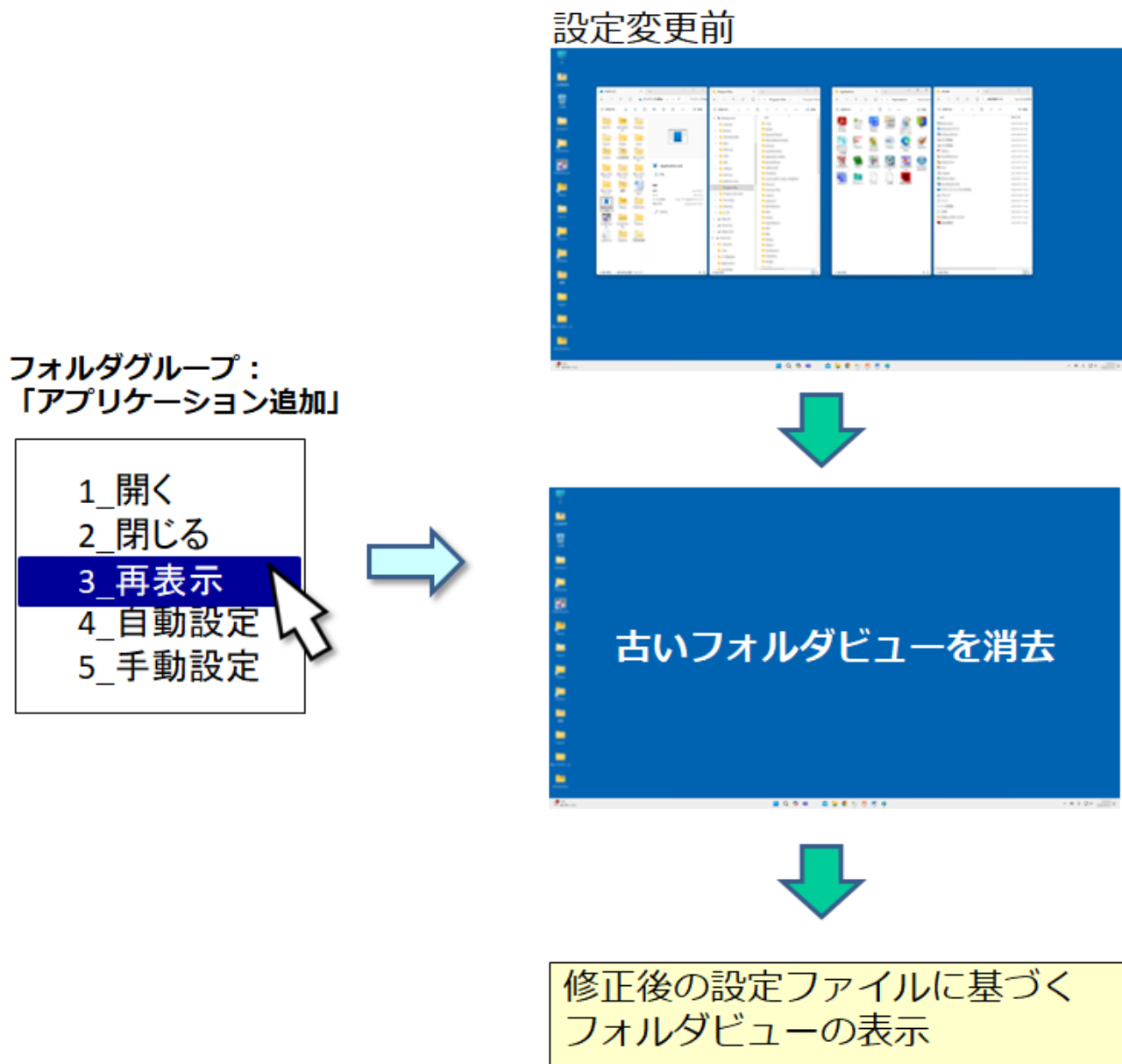


図 5-10 手動設定変更後の再表示操作

実際に再表示した後のフォルダビューは、図 5-11 のように表示されます。

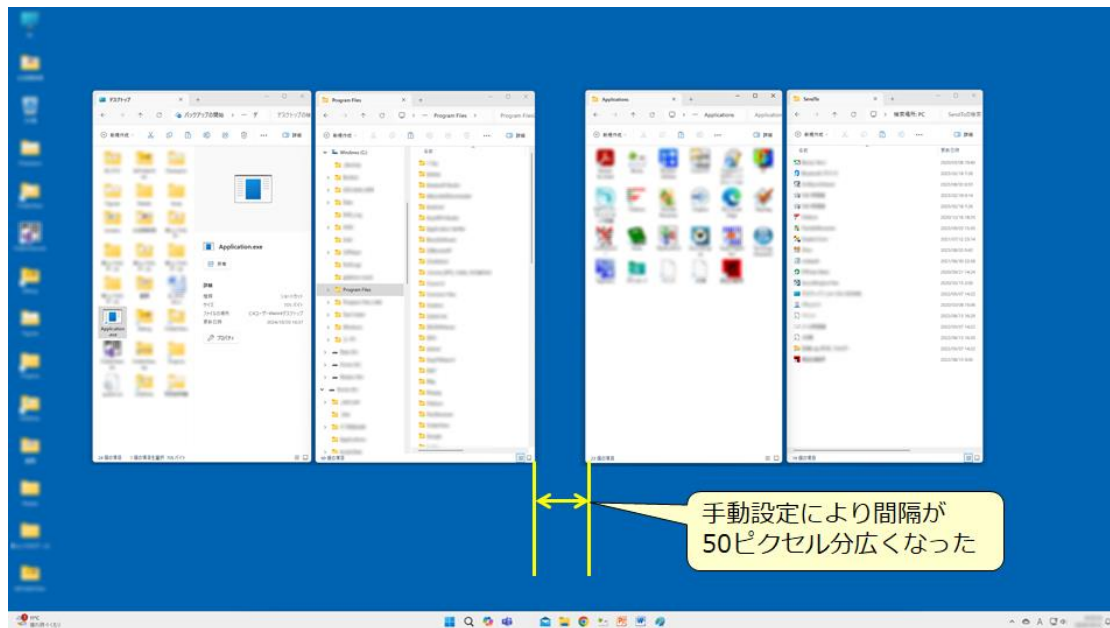


図 5-11 再表示後のフォルダビュー

図 5-11 を見ると、図 5-9 で行った手動設定が確かに反映されたことが確認できました。

以上でフォルダグループ「アプリケーション追加」の設定が完了しましたので、以後は下記の操作によりフォルダビューを表示してご利用ください。

フォルダグループ：
「アプリケーション追加」

- 1_開く
- 2_閉じる
- 3_再表示
- 4_自動設定
- 5_手動設定

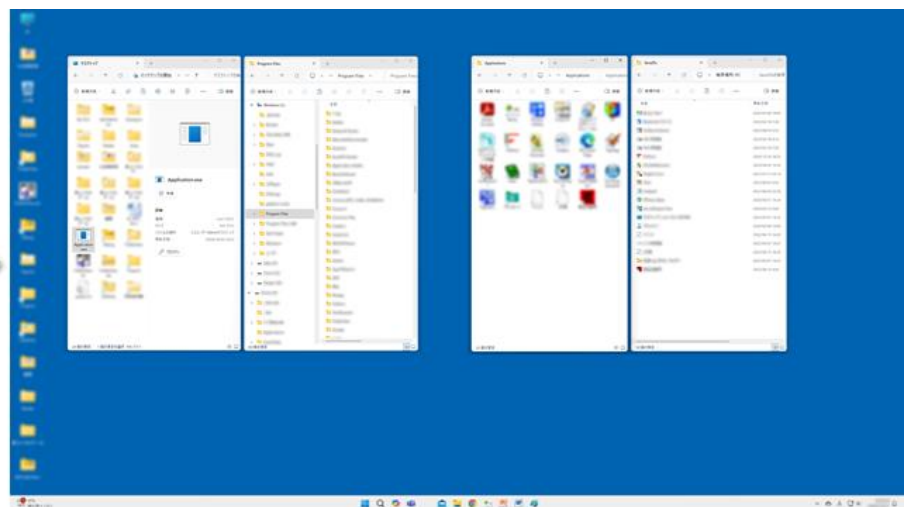


図 5-12 フォルダグループ「アプリケーション追加」のフォルダビュー表示

このフォルダビューを使用することで、新規追加したアプリケーションのショートカットファイルを見つけてそれをアプリケーションフォルダと SendTo フォルダへコピーするという作業が容易に行えるようになります。

「作ってみよう」のコーナーは以上になります。これは一例ですが、普段画面に複数のフォルダ（エクスプローラ）を表示して何らかのファイル操作を行うことがあれば、そのシナリオを整理し、フォルダグループを設計して実際にフォルダグループを作成してみてください。

最後になりましたが、本ソフトウェアが少しでも皆様の PC ライフのお役に立てれば幸いです。

索引

EXCLUDE_EXPLORER, 26, 37
FolderView, 1, 5, 8, 9, 12, 15, 46
HEIGHT, 21, 29
ICON_SIZE, 21, 22
NAVI_PANE, 21
OPEN_SETTING_FILE, 25, 36
PATH, 21
SendTo, 44, 45, 46, 52
SIDE_PANE, 21
UPDATE_CONFIRMATION, 36
VIEW_MODE, 21, 22
WAIT_TIME, 12, 34, 35
WIDTH, 21
Windows, 1, 12, 28, 44, 45, 46
アイコン, 6, 15, 46
アイコンサイズ, 21
アプリケーション, 2, 5, 19, 44, 45, 46, 47, 48, 51, 52
アンインストール, 8, 15
インストール, 1, 8, 44, 45
ウィンドウペイン, 1, 5
上書き確認, 36, 48
エクスプローラ, 1, 2, 4, 5, 6, 9, 11, 12, 13, 14, 21, 22, 23, 24, 26, 27, 28, 34, 37, 39, 44, 47, 52
FV_登録編集, 9, 39
起動方法, 12
最小化, 24, 26, 27, 28, 37
再表示, 2, 3, 19, 20, 31, 51, 52
作者, 1
座標, 21, 28, 29, 30, 31, 50
時間間隔, 35
システム設定ファイル, 5, 25, 26, 33, 34, 35, 36, 37
始点, 21, 28, 29
自動設定, 4, 14, 21, 22, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 31, 36, 37, 41, 42, 47, 48, 49
シナリオ, 5, 6, 44, 45, 52
手動設定, 5, 9, 28, 30, 31, 41, 42, 49, 50, 51, 52
消去, 2, 17, 18, 19, 31, 32, 33
詳細ウィンドウ, 6, 21, 47
詳細表示, 21, 46
ショートカット, 9, 11, 44, 45
スタート, 12, 13, 15
セットアップ, 8, 11, 12, 39, 40, 46

ダウンロード, 1, 4, 6, 8, 11, 16
縦幅, 21
調整, 5, 12, 35
テキストエディタ, 10
デスクトップ, 16, 44, 45
デフォルト, 10, 11, 21, 33, 35, 36, 37
登録解除, 42, 43
ドキュメント, 16
閉じる, 17, 27, 32, 33, 37
取扱説明書, 38
ナビゲーションウィンドウ, 6, 21, 47
排他制御, 28
パッケージ, 8, 9
ピクチャ, 4, 11, 16
ビューモード, 1, 5, 6, 34, 46
表示位置, 1, 5
表示サイズ, 1
表示順序, 23, 24, 48
開く, 11, 16, 21, 25, 28, 33, 36, 38, 41, 43
ピン留め, 12, 13, 15
フォルダグループ, 2, 5, 6, 7, 9, 10, 11, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 26, 28, 31, 32, 33, 37, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 45, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52
フォルダバス, 1, 5, 6
フォルダビュー, 1, 2, 3, 4, 5, 7, 9, 11, 12, 14, 16, 17, 18, 19, 20, 23, 24, 31, 32, 33, 39, 40, 41, 42, 44, 46, 48, 51, 52
フリーソフト, 1, 14
プレビューウィンドウ, 6, 21
待ち時間, 12, 35
メニュー展開, 14, 15
メモ帳, 10, 28, 30, 33, 34, 49, 50
ユーザーフォルダ, 16
横幅, 21
ランチャ, 9, 11, 12, 13, 14, 15, 26, 27, 37, 41, 42, 43
リスト表示, 21



ぶらぽた GO